

# 来札道内観光客動態調査・分析業務

## 報 告 書

平成16年9月

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

## 目 次

### 調査の概要

- 1 . 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 . 調査の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### アンケート調査結果

- 1 . 回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - ( 1 ) 性別、年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - ( 2 ) 職業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 . 同行者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 . 居住地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 4 . 旅行の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 5 . 札幌市内で訪問する場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 6 . 旅行の日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
  - ( 1 ) 旅行日数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
  - ( 2 ) 札幌市内での宿泊・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
  - ( 3 ) 札幌市以外の訪問場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- 7 . 旅行の楽しみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 8 . 札幌での楽しみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 9 . 旅行消費額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
  - ( 1 ) 市内交通費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
  - ( 2 ) 宿泊費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
  - ( 3 ) 飲食費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
  - ( 4 ) 買い物費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
  - ( 5 ) 遊興・娯楽費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
  - ( 6 ) 雑費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

### 調査結果のまとめと分析

- 1 . 居住地別にみる札幌観光の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 2 . 旅行者の属性別にみる札幌観光の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
  - ( 1 ) 30才未満の札幌観光・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
  - ( 2 ) 30才以上の札幌観光・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 3 . 来札目的別にみる旅行者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
  - ( 1 ) 買い物・飲食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
  - ( 2 ) その他の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
- 4 . まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

札幌市の観光客の入り込みは、その過半数を道内からの観光客が占めている。この事実は、道内観光客による道内観光を活発にすることも、札幌市はもとより北海道の集客交流産業の発展のためには必要であることを示している。道内観光客による道内観光の活性化のためには、道内他都市との連携関係を密接にし、相互の市民が相互の都市を訪問するような関係の構築が必要である。

本調査はこうしたことを踏まえ、道内観光客による札幌観光に関する基礎的データを収集するために、道内観光客の動態を把握する調査及び分析を行った。

### 2. 調査の内容

札幌市内にある交通拠点などを中心として、札幌市を観光目的で訪れた道内在住の方々を対象にアンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は以下のとおりである。

#### アンケート調査の概要

調査日 平成16年8月27日、28日

調査場所 JR札幌駅、札幌駅バスターミナル、新千歳空港、札幌丘珠空港、道央自動車道輪厚パーキングエリア、同野幌パーキングエリア、札幌自動車道金山パーキングエリア、ガソリンスタンド（3箇所）、道の駅望羊中山、定山溪温泉（路線バス停留所3箇所付近）、さっぽろ羊ヶ丘展望台

調査対象 JR（JR札幌駅）、路線バス（札幌駅バスターミナル、定山溪温泉）、航空機（新千歳空港、札幌丘珠空港）については各交通機関の降客、その他については施設利用者のうち札幌市内に来た（行く）目的が観光である者

調査方法 調査員による面談調査

回収数 577件

注：観光とは次の目的のことを総称する。

観光地めぐり、買い物・飲食、スポーツ、芸術鑑賞、温泉等、イベント参加見物、キャンプ、その他の教養娯楽

アンケートの回収数は、二日間の合計で577件であった。その内訳は図表1および2のとおりである。調査日別では、8月27日（金曜日）が166件、8月28日（土曜日）が411件であった。

図表1 アンケート回収結果（調査日別）

調査日	件数	割合（％）
回答総数	577	100.0
8月27日（金）	166	28.8
8月28日（土）	411	71.2

また、調査場所別では最も多かったのは乗用車の211件（36.6％）であるが、「JR札幌駅」が156件（27.0％）、「札幌駅バスターミナル」が147件（25.5％）となっており、札幌駅周辺であるこの2つの施設を合計すると303件となり、全体の半数を超える。

図表2 アンケート回収結果（調査場所別）

調査場所	件数	割合（％）
回答総数	577	100.0
乗用車	211	36.6
JR札幌駅	156	27.0
札幌駅バスターミナル	147	25.5
札幌丘珠空港	26	4.5
さっぽろ羊ヶ丘展望台	14	2.4
定山溪温泉	17	2.9
新千歳空港	6	1.0

注：ガソリンスタンド、各パーキングエリア、道の駅望羊中山での調査をまとめて乗用車とした。

## アンケート調査結果

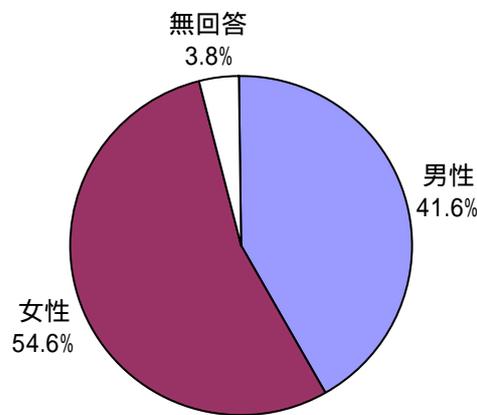
### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別、年齢

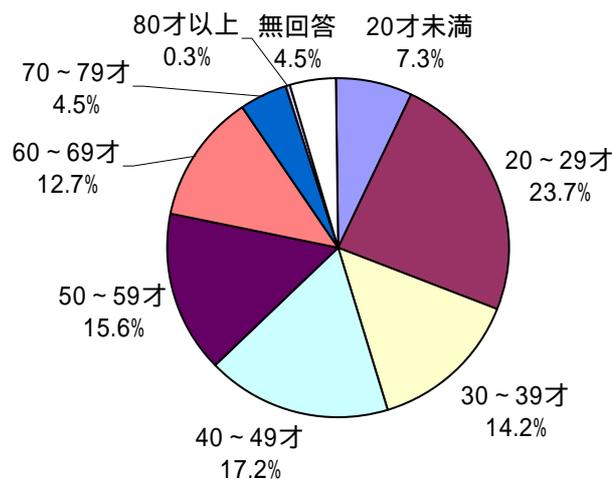
回答者の性別は「男性」が41.6%、「女性」が54.6%となっており、若干女性が多くなっている。また、回答者の年齢は「20～29才」が最も多く23.7%、次いで「40～49才」が17.2%、「50～59才」が15.6%などと続いている。

年齢を男女別にみると、20才未満で「女性」が81.0%と圧倒的に多い。また、ほとんどの年齢で「女性」の割合が高いが、30～39才では「男性」が多くなっている。

図表3 回答者の性別（S A、N=577）



図表4 回答者の年齢（S A、N=577）



図表5 男女別年齢（S A）

（単位：人、％）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
男性	41.6	19.0	46.0	50.0	43.4	45.6	42.6	65.4
女性	54.6	81.0	53.3	48.8	52.5	54.4	57.4	34.6
無回答	3.8	0.0	0.7	1.2	4.0	0.0	0.0	0.0

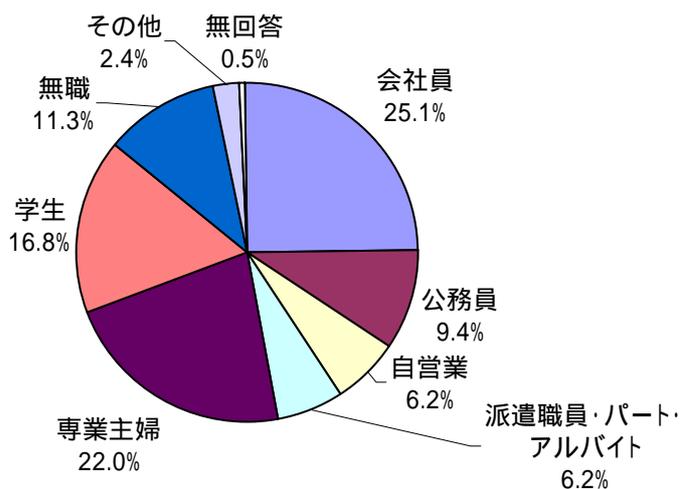
注1：網掛け部は全体より高い割合。以下、特に断らない限り、各表でも同様。

注2：年齢区分は「60～69才」、「70～79才」、「80才以上」を「60才以上」と一つの区分にまとめた。以下の各表でも同様。

（2）職業

回答者の職業をみると、「会社員」が最も多く25.1%、次いで「専業主婦」が22.0%、「学生」が16.8%などと続いている。

図表6 回答者の職業（S A、N=577）

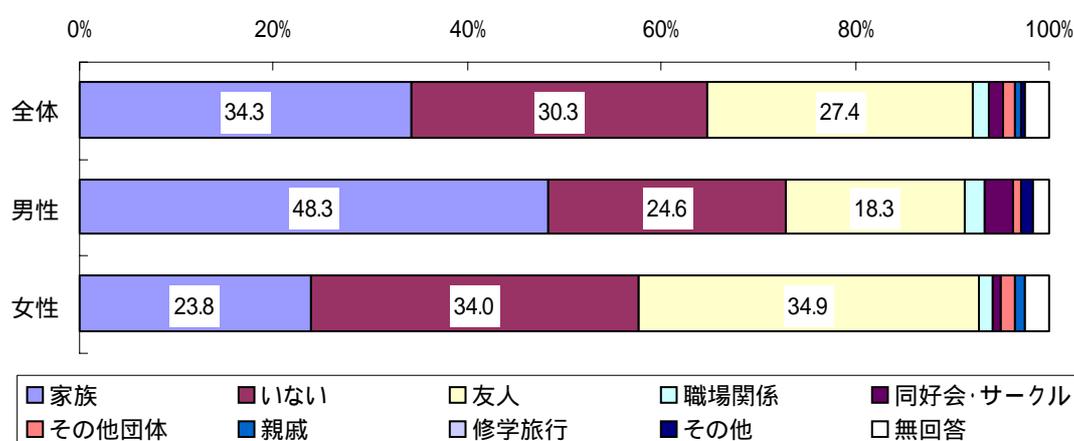


## 2. 同行者

旅行の同行者をみると、全体では最も多いのが「家族」で34.3%となっている。次いで、「いない」が30.3%、「友人」が27.4%となっており、これらで全体の90%以上となっている。また、選択肢のうち「修学旅行」については回答がなかった。

また、男女別にみると、男性では「家族」が最も多く48.3%と半数近くになっているが、女性では「いない」が34.0%、「友人」が34.9%とほぼ同じ割合になっており、「家族」は23.8%と男性に比べて低い割合となっている。

図表7 同行者（S A、N=577）



図表8 男女別同行者（S A）

（単位：人、%）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	577	240	315	22
家族	34.3	48.3	23.8	31.8
いない	30.3	24.6	34.0	40.9
友人	27.4	18.3	34.9	18.2
職場関係	1.7	2.1	1.6	0.0
同好会・サークル	1.6	2.9	0.6	0.0
その他団体	1.2	0.8	1.6	0.0
親戚	0.5	0.0	1.0	0.0
その他	0.5	1.3	0.0	0.0
修学旅行	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.4	1.7	2.5	9.1

年齢別にみると、20才未満および20～29才では「友人」がそれぞれ47.6%、45.3%と最も高い割合となっているが、30才以上の各年齢では、いずれも「家族」が最も高い割合となっている。特に、40～49才では51.5%と半数を超えている。

図表9 年齢別同行者（S A）

（単位：人、%）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
家族	34.3	9.5	15.3	42.7	51.5	40.0	44.6	50.0
いない	30.3	33.3	30.7	29.3	31.3	22.2	31.7	38.5
友人	27.4	47.6	45.3	23.2	11.1	25.6	16.8	0.0
職場関係	1.7	0.0	2.2	1.2	2.0	3.3	0.0	0.0
同好会・サークル	1.6	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
その他団体	1.2	0.0	0.0	1.2	1.0	3.3	2.0	7.7
親戚	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	2.2	0.0	0.0
その他	0.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
修学旅行	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.4	2.4	1.5	2.4	2.0	2.2	4.0	3.8

### 3. 居住地

回答者の居住地をみると、最も多いのは「小樽市」であり全体の12.3%となった。次いで「旭川市」が9.9%、「函館市」が6.4%、「江別市」が5.7%、「岩見沢市」が5.0%などとなっており、近隣の市町村や人口が比較的が多い市町村が上位となっている。

図表10 居住地（市町村別、回答10件以上）

	件数	割合（%）
回答総数	577	100.0
小樽市	71	12.3
旭川市	57	9.9
函館市	37	6.4
江別市	33	5.7
岩見沢市	29	5.0
恵庭市	22	3.8
苫小牧市	21	3.6
千歳市	20	3.5
室蘭市	20	3.5
釧路市	18	3.1
富良野市	14	2.4
北広島市	12	2.1
帯広市	12	2.1
岩内町	10	1.7
余市町	10	1.7

図表11 居住地（回答数の少なかった市町村）

回答数	該当市町村数	市町村
8件	2	北見市、登別市
7件	1	名寄市
6件	2	滝川市、留萌市
5件	5	三笠市、深川市、網走市、倶知安町、真狩村
4件	3	美瑛市、共和町、静内町
3件	12	赤平市、士別市、稚内市、紋別市、江差町、古平町、幌加内町、羽幌町、白老町、浦河町、本別町、標茶町
2件	17	芦別市、歌志内市、七飯町、八雲町、北檜山町、留寿都村、当別町、夕張市、栗沢町、小平町、鶴川町、三石町、平取町、幕別町、足寄町、鶴居村、中標津町
1件	47	石狩市、砂川市、伊達市、根室市、森町、長万部町、乙部町、蘭越町、京極町、泊村、二セコ町、積丹町、寿都町、仁木町、黒松内町、南幌町、雨竜町、長沼町、上砂川町、奈井江町、栗山町、美瑛町、愛別町、音威子府村、占冠村、風連町、浜頓別町、枝幸町、雄武町、丸瀬布町、湧別町、遠軽町、上湧別町、女満別町、生田原町、訓子府町、虻田町、豊浦町、厚真町、日高町、えりも町、芽室町、音更町、新得町、広尾町、浜中町、別海町

これを支庁別にみると、最も多いのは小樽市を含む「後志支庁」であり、全体の20.5%を占めている。次いで、近隣の市町村からなる「石狩支庁」が15.6%、「上川支庁」が14.9%などとなっている。

図表12 居住地（支庁別）

	件数	割合（%）
回答総数	577	100.0
後志支庁	118	20.5
石狩支庁	90	15.6
上川支庁	86	14.9
空知支庁	70	12.1
胆振支庁	58	10.1
渡島支庁	43	7.5
網走支庁	24	4.2
釧路支庁	24	4.2
十勝支庁	23	4.0
日高支庁	13	2.3
留萌支庁	11	1.9
檜山支庁	6	1.0
宗谷支庁	5	0.9
根室支庁	4	0.7
無回答	2	0.3

これを北海道の圏域別に分けると、道央が最も多く349件、道北が102件、道南が49件、根釧が28件、オホーツクが24件、十勝が23件となる。ただし、圏域は図表13に示した6圏域とした。

図表13 北海道の圏域区分

圏域	対象支庁
道南	渡島支庁、檜山支庁
道央	石狩支庁、後志支庁、空知支庁、胆振支庁、日高支庁
道北	網走支庁
オホーツク	上川支庁、留萌支庁、宗谷支庁
十勝	十勝支庁
根釧	釧路支庁、根室支庁

資料：「第3次北海道長期総合計画」地域生活経済圏より

年齢別に居住地をみると、20才未満、20～29才および60才以上で「道央」の割合がそれぞれ66.7%、70.1%、64.4%と全体に比べて高い割合となっている。また、30～39才では、「道南」、「道北」、「オホーツク」、「根釧」の4圏域で全体を上回っている。

図表14 年齢別居住地（S A）

（単位：人、％）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
道央	60.5	66.7	70.1	51.2	53.5	60.0	64.4	53.8
道北	17.7	11.9	8.8	23.2	28.3	17.8	13.9	23.1
道南	8.5	4.8	5.8	11.0	7.1	7.8	14.9	11.5
オホーツク	4.2	7.1	1.5	7.3	5.1	3.3	3.0	3.8
根釧	4.9	2.4	7.3	6.1	3.0	8.9	0.0	0.0
十勝	4.0	7.1	5.8	1.2	3.0	2.2	4.0	7.7
無回答	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### 4. 旅行の目的

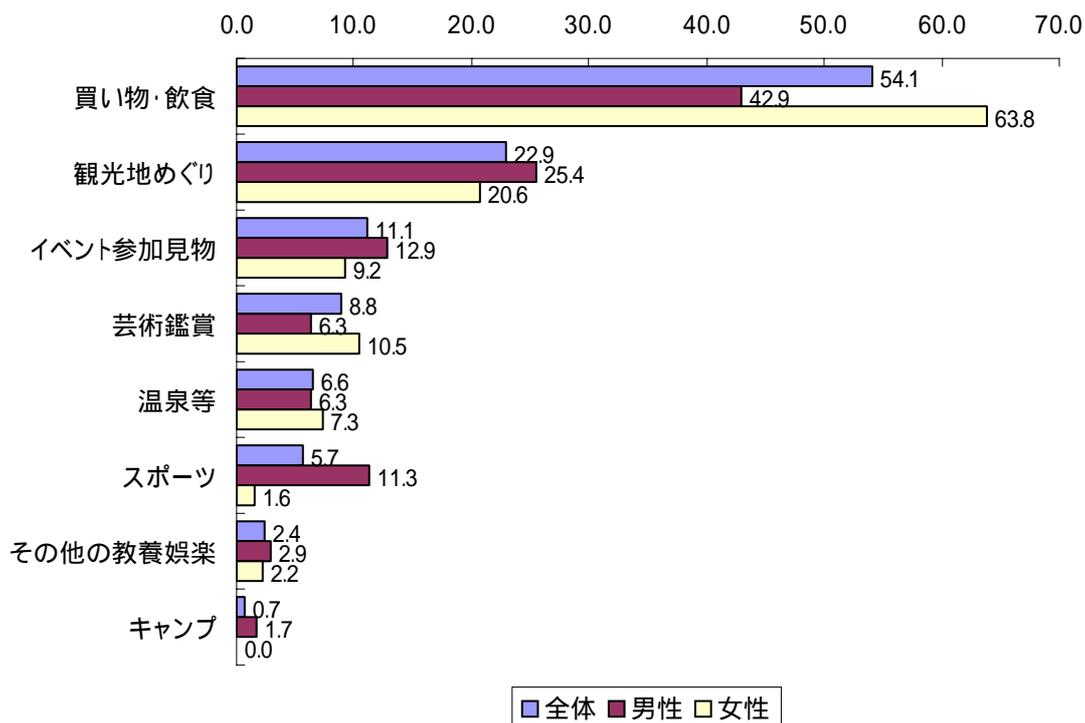
旅行の目的をみると、全体では「買い物・飲食」が最も多く54.1%と半数以上となった。その他では、「観光地めぐり」(22.9%)、「イベント参加見物」(11.1%)、「芸術鑑賞」(8.8%)などが多くなっている。

これを男女別にみると、男女とも「買い物・飲食」の割合が最も高いが、特に女性では63.8%と高い割合となっている。また、男性では「スポーツ」が11.3%と女性に比べて高い割合となっている。

年齢別にみると、どの年齢層とも「買い物・飲食」の割合が最も高いが、特に20才未満および20~29才では他の年齢層に比べて高い。また、「観光地めぐり」は年齢が高くなるにしたがい、その割合が高くなっており、60才以上では30.7%となっている。

職業別にみても、どの職業でも「買い物・飲食」の割合が最も高くなっているが、最も高い学生が68.0%、最も低い自営業が30.6%であり、その割合にはばらつきがある。

図表15 札幌に来た目的 (M A、N=577)



図表16 男女別札幌に来た目的（MA）

（単位：人、％）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	577	240	315	22
買い物・飲食	54.1	42.9	63.8	36.4
観光地めぐり	22.9	25.4	20.6	27.3
イベント参加見物	11.1	12.9	9.2	18.2
芸術鑑賞	8.8	6.3	10.5	13.6
温泉等	6.6	6.3	7.3	0.0
スポーツ	5.7	11.3	1.6	4.5
その他の教養娯楽	2.4	2.9	2.2	0.0
キャンプ	0.7	1.7	0.0	0.0

図表17 年齢別札幌に来た目的（MA）

（単位：人、％）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
買い物・飲食	54.1	81.0	62.8	47.6	50.5	50.0	47.5	38.5
観光地めぐり	22.9	7.1	19.7	22.0	24.2	25.6	30.7	23.1
イベント参加見物	11.1	14.3	8.0	22.0	10.1	4.4	10.9	15.4
芸術鑑賞	8.8	4.8	4.4	9.8	9.1	15.6	7.9	15.4
温泉等	6.6	0.0	2.2	3.7	6.1	12.2	14.9	0.0
スポーツ	5.7	2.4	5.1	4.9	6.1	8.9	5.9	3.8
その他の教養娯楽	2.4	0.0	0.7	1.2	5.1	3.3	4.0	0.0
キャンプ	0.7	0.0	2.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0

図表18 職業別札幌に来た目的（MA）

（単位：人、％）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・パートアルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	577	145	54	36	36	127	97	65	14	3
買い物・飲食	54.1	55.2	48.1	30.6	55.6	54.3	68.0	47.7	50.0	66.7
観光地めぐり	22.9	20.0	14.8	22.2	33.3	24.4	16.5	36.9	28.6	0.0
イベント参加見物	11.1	9.7	18.5	19.4	16.7	11.0	7.2	9.2	0.0	0.0
芸術鑑賞	8.8	7.6	9.3	8.3	5.6	11.8	7.2	9.2	14.3	0.0
温泉等	6.6	4.1	3.7	0.0	2.8	12.6	2.1	15.4	7.1	0.0
スポーツ	5.7	4.1	11.1	16.7	8.3	2.4	5.2	3.1	7.1	33.3
その他の教養娯楽	2.4	1.4	1.9	11.1	0.0	2.4	0.0	6.2	0.0	0.0
キャンプ	0.7	0.7	1.9	0.0	0.0	0.0	1.0	1.5	0.0	0.0

同行者別にみると、その他では「観光地めぐり」が46.9%と「買い物・飲食」の34.4%より高くなっている。また、家族では「買い物・飲食」の割合が49.5%と全体より低い。

居住地別にみると、道央では「買い物・飲食」が63.0%と比較的集中しているが、道南および根釧では「観光地めぐり」がそれぞれ57.1%、50.0%と最も高くなっている。

図表19 同行者別札幌に来た目的（MA）

（単位：人、%）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	577	198	175	158	32	14
買い物・飲食	54.1	49.5	61.1	57.0	34.4	42.9
観光地めぐり	22.9	22.7	13.7	29.1	46.9	14.3
イベント参加見物	11.1	14.6	11.4	7.0	0.0	28.6
芸術鑑賞	8.8	6.6	9.7	9.5	9.4	21.4
温泉等	6.6	7.1	2.3	8.9	15.6	7.1
スポーツ	5.7	6.1	5.7	2.5	15.6	14.3
その他の教養娯楽	2.4	1.5	2.9	3.2	3.1	0.0
キャンプ	0.7	0.0	0.6	0.6	6.3	0.0

注：ここでのその他は、同行者の選択肢のうち、「親戚」、「同好会・サークル」、「職場関係」、「その他団体」、「修学旅行」、「その他」を一つにまとめたものである。また、以下の各表でも同様にしている。

図表20 居住地別札幌に来た目的（MA）

（単位：人、%）

	全体	道南	道央	道北	峠-ツク	十勝	根釧	無回答
回答数	577	49	349	102	24	23	28	2
買い物・飲食	54.1	36.7	63.0	41.2	29.2	52.2	42.9	50.0
観光地めぐり	22.9	57.1	18.1	20.6	16.7	4.3	50.0	50.0
イベント参加見物	11.1	12.2	8.0	15.7	20.8	21.7	14.3	0.0
芸術鑑賞	8.8	12.2	6.9	11.8	16.7	13.0	7.1	0.0
温泉等	6.6	12.2	6.0	6.9	4.2	4.3	7.1	0.0
スポーツ	5.7	0.0	4.3	10.8	12.5	8.7	7.1	0.0
その他の教養娯楽	2.4	0.0	1.7	5.9	8.3	0.0	0.0	0.0
キャンプ	0.7	0.0	0.9	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0

図表21 市町村別札幌に来た目的（M A）

（単位：人、％）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	577	71	57	37	33	29	22	21
買い物・飲食	54.1	83.1	38.6	37.8	72.7	62.1	59.1	42.9
観光地めぐり	22.9	9.9	22.8	70.3	6.1	17.2	9.1	33.3
イベント参加見物	11.1	2.8	10.5	10.8	12.1	3.4	4.5	9.5
芸術鑑賞	8.8	2.8	19.3	10.8	3.0	6.9	4.5	14.3
温泉等	6.6	4.2	7.0	5.4	6.1	3.4	4.5	4.8
スポーツ	5.7	0.0	10.5	0.0	3.0	6.9	13.6	0.0
その他の教養娯楽	2.4	1.4	1.8	0.0	0.0	0.0	4.5	4.8
キャンプ	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0

	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	20	20	18	14	12	12	10	10
買い物・飲食	65.0	55.0	27.8	50.0	58.3	50.0	90.0	70.0
観光地めぐり	5.0	15.0	44.4	14.3	16.7	8.3	30.0	20.0
イベント参加見物	5.0	20.0	22.2	7.1	0.0	8.3	0.0	20.0
芸術鑑賞	15.0	10.0	5.6	0.0	8.3	16.7	10.0	10.0
温泉等	5.0	5.0	11.1	0.0	8.3	8.3	0.0	10.0
スポーツ	5.0	10.0	11.1	7.1	8.3	0.0	0.0	10.0
その他の教養娯楽	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
キャンプ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0

## 5. 札幌市内で訪問する場所

札幌市内で訪問する場所を尋ねたところ、札幌に来た目的として「買い物・飲食」が半数以上となっていることから、札幌駅前や大通などの買い物スポットを訪問するとした回答が多くなっている。

回答が多かった順では「札幌駅前デパート等」が29.5%、「JRタワー」が16.3%、「大通近辺デパート等」が13.0%、「北海道立近代美術館」が7.3%、「狸小路商店街」が6.9%などとなっている。

この中で、「北海道立近代美術館」が7.3%と比較的高い割合となっているが、これは調査期間に有名画家の展示が催されていたことの影響もあると考えられる。その他にも、調査日の翌日にマラソン大会が開催されたことから「真駒内公園」との回答も多くなっていると考えられる。

図表22 訪問する場所（MA、主な回答）

	件数	割合（%）
回答数	577	100.0
札幌駅前デパート等	170	29.5
JRタワー	94	16.3
大通近辺デパート等	75	13.0
北海道立近代美術館	42	7.3
狸小路商店街	40	6.9
札幌ドーム	28	4.9
すすきの	23	4.0
時計台	20	3.5
定山溪温泉	20	3.5
サッポロファクトリー	17	2.9
羊ヶ丘展望台	14	2.4
さっぽろテレビ塔	14	2.4
大通公園	13	2.3
真駒内公園（競技場、アリーナ）	10	1.7
中島公園	9	1.6
円山動物園	8	1.4
厚生年金会館	8	1.4
北海道庁旧本庁舎	5	0.9

また、図表22以外にも札幌市内にある多くの観光施設が、少数ではあるが、訪問する場所としてあげられた。

図表23 訪問する場所（MA、少数の回答）

回答数	場 所
4件	藻岩山、札幌芸術の森
3件	サッポロビール博物館（園）、三岸好太郎美術館、新札幌、STVホール
2件	北海道大学、大倉山ジャンプ競技場、旭山記念公園、百合が原公園、弥永北海道博物館、札幌コンサートホールKitara、かでの27、きたえーる、競馬場、滝野すずらん公園（キャンプ場）、スピカ、ゼップ札幌
1件	北海道大学附属植物園、中央卸売市場 場外市場、豊平峡、白い恋人パーク、サッポロさくらんど、北海道開拓の村（記念館）、札幌彫刻美術館、本郷新記念館、北海道立文学館、豊平館、渡辺淳一文学館、モエレ沼公園、円山公園、円山球場、北海道神宮 他

主な訪問場所を男女別にみると、どちらも最も多いのは「札幌駅前デパート等」であるが、男性の19.2%に対し女性は37.8%と、その割合は女性の方が高くなっている。また、「札幌ドーム」や「時計台」などの観光関連施設は男性の割合が女性に比べて高くなっている。

図表24 男女別訪問する場所（MA、主な回答）

（単位：人、％）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	577	240	315	22
札幌駅前デパート等	29.5	19.2	37.8	22.7
JRタワー	16.3	14.6	18.4	4.5
大通近辺デパート等	13.0	7.1	18.1	4.5
北海道立近代美術館	7.3	4.2	9.2	13.6
狸小路商店街	6.9	4.2	9.2	4.5
札幌ドーム	4.9	7.1	2.5	13.6
すすきの	4.0	6.7	2.2	0.0
時計台	3.5	4.6	2.9	0.0
定山溪温泉	3.5	2.5	4.4	0.0
サッポロファクトリー	2.9	2.5	3.5	0.0
羊ヶ丘展望台	2.4	3.3	1.6	4.5
さっぽろテレビ塔	2.4	3.3	1.6	4.5
大通公園	2.3	2.9	1.9	0.0
真駒内公園（競技場、アリーナ）	1.7	2.1	1.6	0.0
中島公園	1.6	1.7	1.3	4.5
円山動物園	1.4	2.5	0.6	0.0
厚生年金会館	1.4	1.7	1.3	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.9	0.8	1.0	0.0

年齢別にみると、すべての年齢で1位が「札幌駅前デパート等」であるがその割合にはばらつきがあり、最も高い20才未満では54.8%、最も低い30～39才では19.5%となった。また、2位はほとんどの年齢で「JRタワー」となったが、20～29才では「大通近辺デパート等」が、50～59才では「北海道立近代美術館」が2位となっている。

図表25 年齢別訪問する場所（MA、主な回答）

（単位：人、％）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
札幌駅前デパート等	29.5	54.8	32.1	19.5	27.3	32.2	23.8	26.9
JRタワー	16.3	31.0	18.2	15.9	15.2	12.2	14.9	7.7
大通近辺デパート等	13.0	26.2	20.4	6.1	9.1	6.7	14.9	3.8
北海道立近代美術館	7.3	2.4	3.6	6.1	8.1	14.4	5.9	15.4
狸小路商店街	6.9	14.3	12.4	6.1	1.0	6.7	4.0	3.8
札幌ドーム	4.9	2.4	5.1	6.1	4.0	4.4	4.0	11.5
すすきの	4.0	2.4	8.8	2.4	4.0	3.3	1.0	0.0
時計台	3.5	0.0	3.6	1.2	2.0	4.4	7.9	0.0
定山溪温泉	3.5	0.0	2.9	1.2	3.0	6.7	5.9	0.0
サッポロファクトリー	2.9	0.0	3.6	4.9	2.0	3.3	2.0	3.8
羊ヶ丘展望台	2.4	2.4	3.6	2.4	2.0	2.2	1.0	3.8
さっぽろテレビ塔	2.4	0.0	3.6	1.2	1.0	3.3	4.0	0.0
大通公園	2.3	2.4	2.9	2.4	3.0	1.1	2.0	0.0
真駒内公園(競技場、アリーナ)	1.7	0.0	1.5	2.4	3.0	1.1	1.0	3.8
中島公園	1.6	0.0	1.5	1.2	3.0	2.2	0.0	3.8
円山動物園	1.4	2.4	0.7	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
厚生年金会館	1.4	2.4	0.7	0.0	1.0	2.2	3.0	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.9	0.0	1.5	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0

職業別にみても、ほとんどの職業で1位が「札幌駅前デパート等」となっているが、無職では「JRタワー」が最も高く、その他では「札幌駅前デパート等」と「JRタワー」および「札幌ドーム」が同じ割合となっている。また、年齢別のように突出して高い割合となっている場所はない。

図表26 職業別訪問する場所（MA、主な回答）

（単位：人、％）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・パート・アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	577	145	54	36	36	127	97	65	14	3
札幌駅前デパート等	29.5	26.2	24.1	25.0	38.9	38.6	38.1	12.3	14.3	0.0
JRタワー	16.3	12.4	5.6	13.9	19.4	15.7	25.8	18.5	14.3	66.7
大通近辺デパート等	13.0	9.0	18.5	2.8	13.9	13.4	20.6	12.3	7.1	0.0
北海道立近代美術館	7.3	6.9	9.3	5.6	2.8	9.4	5.2	9.2	7.1	0.0
狸小路商店街	6.9	5.5	3.7	2.8	5.6	5.5	15.5	4.6	7.1	33.3
札幌ドーム	4.9	4.8	9.3	8.3	2.8	2.4	3.1	6.2	14.3	0.0
すすきの	4.0	4.8	1.9	2.8	8.3	0.8	9.3	0.0	7.1	0.0
時計台	3.5	0.7	1.9	2.8	2.8	6.3	3.1	7.7	0.0	0.0
定山溪温泉	3.5	2.8	1.9	0.0	0.0	6.3	4.1	4.6	0.0	0.0
サッポロファクトリー	2.9	2.1	1.9	5.6	11.1	1.6	3.1	3.1	0.0	0.0
羊ヶ丘展望台	2.4	2.1	3.7	0.0	5.6	1.6	3.1	1.5	7.1	0.0
さっぽろテレビ塔	2.4	2.8	1.9	0.0	2.8	2.4	1.0	4.6	7.1	0.0
大通公園	2.3	0.7	5.6	0.0	0.0	2.4	3.1	3.1	7.1	0.0
真駒内公園(競技場、アリーナ)	1.7	0.7	3.7	0.0	5.6	1.6	2.1	0.0	7.1	0.0
中島公園	1.6	0.7	1.9	8.3	5.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
円山動物園	1.4	1.4	1.9	5.6	0.0	0.0	2.1	1.5	0.0	0.0
厚生年金会館	1.4	0.7	0.0	8.3	0.0	1.6	1.0	1.5	0.0	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.9	0.0	1.9	0.0	2.8	0.8	1.0	1.5	0.0	0.0

同行者別にみると、家族、いない、友人では「札幌駅前デパート等」が1位となっているが、その他では「JRタワー」が1位となっている。また、友人の場合は、多くの場所で全体の割合を上回っており、目的地が分散しているあるいは多くの場所を回っていることがうかがえる。

図表27 同行者別訪問する場所（MA、主な回答）

（単位：人、％）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	577	198	175	158	32	14
札幌駅前デパート等	29.5	26.8	37.1	25.9	25.0	21.4
JRタワー	16.3	14.1	12.0	21.5	28.1	14.3
大通近辺デパート等	13.0	6.1	16.6	19.0	3.1	21.4
北海道立近代美術館	7.3	7.1	7.4	7.6	3.1	14.3
狸小路商店街	6.9	3.0	5.7	13.9	3.1	7.1
札幌ドーム	4.9	6.6	1.1	5.7	12.5	0.0
すすきの	4.0	2.0	2.9	7.0	9.4	0.0
時計台	3.5	2.5	1.7	4.4	12.5	7.1
定山溪温泉	3.5	3.0	1.1	3.8	15.6	7.1
サッポロファクトリー	2.9	2.0	2.3	4.4	6.3	0.0
羊ヶ丘展望台	2.4	2.0	0.6	3.2	12.5	0.0
さっぽろテレビ塔	2.4	2.5	1.1	3.2	3.1	7.1
大通公園	2.3	2.5	2.3	2.5	0.0	0.0
真駒内公園(競技場、アリーナ)	1.7	1.0	2.9	1.3	3.1	0.0
中島公園	1.6	1.5	1.1	1.3	0.0	14.3
円山動物園	1.4	2.5	1.1	0.6	0.0	0.0
厚生年金会館	1.4	2.0	1.7	0.6	0.0	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.9	0.0	1.7	1.3	0.0	0.0

居住地別にみると、来札目的で観光地めぐりが最も多かった道南および根釧では「JRタワー」が1位であり、十勝では「JRタワー」と「札幌駅前デパート等」が同率で1位となっている。その他の地域では「札幌駅前デパート等」が1位となっている。

図表28 居住地別訪問する場所（MA、主な回答）

（単位：人、％）

	全体	道南	道央	道北	林-ツク	十勝	根釧	無回答
回答数	577	49	349	102	24	23	28	2
札幌駅前デパート等	29.5	16.3	35.8	20.6	25.0	21.7	17.9	0.0
JRタワー	16.3	28.6	14.3	14.7	8.3	21.7	25.0	50.0
大通近辺デパート等	13.0	16.3	13.5	9.8	12.5	13.0	14.3	0.0
北海道立近代美術館	7.3	6.1	4.9	10.8	12.5	8.7	17.9	50.0
狸小路商店街	6.9	0.0	9.5	3.9	4.2	4.3	3.6	0.0
札幌ドーム	4.9	8.2	3.4	9.8	0.0	4.3	3.6	0.0
すすきの	4.0	2.0	2.9	3.9	12.5	4.3	10.7	50.0
時計台	3.5	10.2	2.3	3.9	0.0	0.0	10.7	0.0
定山溪温泉	3.5	8.2	3.2	2.9	4.2	0.0	3.6	0.0
サッポロファクトリー	2.9	8.2	2.0	3.9	4.2	4.3	0.0	0.0
羊ヶ丘展望台	2.4	2.0	2.3	2.9	0.0	0.0	7.1	0.0
さっぽろテレビ塔	2.4	6.1	2.0	2.9	0.0	0.0	3.6	0.0
大通公園	2.3	0.0	3.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
真駒内公園(競技場、アリーナ)	1.7	0.0	0.9	3.9	8.3	4.3	0.0	0.0
中島公園	1.6	0.0	0.9	2.0	4.2	0.0	7.1	50.0
円山動物園	1.4	2.0	1.4	1.0	0.0	0.0	3.6	0.0
厚生年金会館	1.4	4.1	0.9	1.0	8.3	0.0	0.0	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.9	0.0	0.9	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表29 市町村別訪問する場所（M A、主な回答）

（単位：人、％）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	577	71	57	37	33	29	22	21
札幌駅前デパート等	29.5	47.9	19.3	13.5	63.6	31.0	31.8	23.8
J Rタワー	16.3	12.7	12.3	35.1	9.1	17.2	13.6	9.5
大通近辺デパート等	13.0	18.3	12.3	16.2	15.2	3.4	9.1	9.5
北海道立近代美術館	7.3	2.8	14.0	2.7	3.0	6.9	0.0	14.3
狸小路商店街	6.9	18.3	5.3	0.0	6.1	6.9	4.5	14.3
札幌ドーム	4.9	0.0	12.3	10.8	0.0	3.4	4.5	4.8
すすきの	4.0	8.5	5.3	2.7	3.0	3.4	0.0	0.0
時計台	3.5	1.4	3.5	10.8	0.0	0.0	0.0	9.5
定山溪温泉	3.5	0.0	1.8	5.4	3.0	3.4	9.1	0.0
サッポロファクトリー	2.9	2.8	1.8	10.8	9.1	0.0	0.0	0.0
羊ヶ丘展望台	2.4	1.4	5.3	2.7	0.0	3.4	4.5	4.8
さっぽろテレビ塔	2.4	4.2	0.0	5.4	0.0	3.4	0.0	14.3
大通公園	2.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	4.5	9.5
真駒内公園(競技場、アリーナ)	1.7	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中島公園	1.6	0.0	1.8	0.0	0.0	3.4	0.0	4.8
円山動物園	1.4	0.0	1.8	2.7	0.0	6.9	0.0	0.0
厚生年金会館	1.4	1.4	0.0	2.7	3.0	0.0	0.0	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8

	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	20	20	18	14	12	12	10	10
札幌駅前デパート等	45.0	35.0	16.7	7.1	33.3	25.0	30.0	20.0
J Rタワー	15.0	15.0	22.2	35.7	16.7	16.7	40.0	20.0
大通近辺デパート等	10.0	25.0	16.7	7.1	16.7	16.7	10.0	30.0
北海道立近代美術館	0.0	5.0	5.6	14.3	8.3	16.7	20.0	10.0
狸小路商店街	0.0	10.0	5.6	7.1	0.0	0.0	10.0	0.0
札幌ドーム	5.0	5.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
すすきの	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	10.0
時計台	0.0	5.0	16.7	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
定山溪温泉	0.0	0.0	5.6	7.1	8.3	0.0	0.0	10.0
サッポロファクトリー	5.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
羊ヶ丘展望台	5.0	10.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
さっぽろテレビ塔	0.0	0.0	5.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
大通公園	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
真駒内公園(競技場、アリーナ)	5.0	5.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
中島公園	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
円山動物園	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
厚生年金会館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北海道庁旧本庁舎	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 旅行の日程

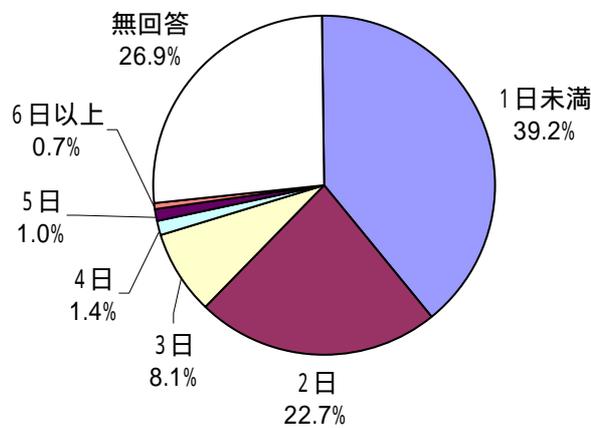
(1) 旅行日数

旅行の日数は、回答があった中では「1日未満」が最も多く39.2%、次いで「2日」が22.7%、「3日」が8.1%となった。

男女別にみても、最も多いのは「1日未満」であるが、男性が32.5%であるのに対し女性は45.1%と高い割合になっている。

年齢別にみると、各年齢で最も高い割合は「1日未満」であるが、30～39才、40～49才、50～59才では「2日」の回答も比較的高く、それぞれ29.3%、27.3%、24.4%となった。

図表30 旅行日数（数量、N=577）



図表31 男女別旅行日数（数量）

(単位：人、%)

	全体	男性	女性	無回答
回答数	577	240	315	22
1日未満	39.2	32.5	45.1	27.3
2日	22.7	23.8	22.2	18.2
3日以上	11.3	10.8	11.7	9.1
無回答	26.9	32.9	21.0	45.5

注：旅行日数は3日以上をまとめて一区分とした。以下の各表でも同様である。

図表32 年齢別旅行日数（数量）

(単位：人、%)

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
1日未満	39.2	54.8	46.7	35.4	30.3	34.4	39.6	34.6
2日	22.7	14.3	20.4	29.3	27.3	24.4	18.8	19.2
3日以上	11.3	7.1	7.3	12.2	11.1	13.3	16.8	7.7
無回答	26.9	23.8	25.5	23.2	31.3	27.8	24.8	38.5

職業別にみると、自営業で「2日」が41.7%と最も高くなっている以外は、各職業で「1日未満」の割合が最も高くなっている。また、会社員、公務員および派遣・パート・アルバイトでは「2日」が比較的に高い割合となっている。

同行者別にみると、その他で「2日」が40.6%と最も高くなっている以外は、「1日未満」が最も高い割合となっており、特に同行者がいない場合では45.1%と高い。また、友人では「2日」が27.2%と比較的高い割合となっている。

居住地別にみると、道南では「3日以上」が30.6%と最も高く、オホーツクおよび根釧では「2日」がそれぞれ66.7%、39.3%と最も高い。また、道北では「1日未満」と「2日」が同率で39.2%となっている。

図表33 職業別旅行日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・パート・アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	577	145	54	36	36	127	97	65	14	3
1日未満	39.2	33.1	44.4	30.6	41.7	41.7	46.4	35.4	42.9	33.3
2日	22.7	25.5	24.1	41.7	27.8	22.0	15.5	16.9	14.3	0.0
3日以上	11.3	3.4	13.0	13.9	8.3	17.3	10.3	16.9	7.1	33.3
無回答	26.9	37.9	18.5	13.9	22.2	18.9	27.8	30.8	35.7	33.3

図表34 同行者別旅行日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	577	198	175	158	32	14
1日未満	39.2	38.9	45.1	37.3	18.8	35.7
2日	22.7	21.7	17.7	27.2	40.6	7.1
3日以上	11.3	8.1	13.7	10.8	21.9	7.1
無回答	26.9	31.3	23.4	24.7	18.8	50.0

図表35 居住地別旅行日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	道南	道央	道北	ホ-ツク	十勝	根釧	無回答
回答数	577	49	349	102	24	23	28	2
1日未満	39.2	18.4	47.0	39.2	8.3	34.8	10.7	0.0
2日	22.7	26.5	13.8	39.2	66.7	13.0	39.3	0.0
3日以上	11.3	30.6	6.3	7.8	12.5	30.4	32.1	50.0
無回答	26.9	24.5	33.0	13.7	12.5	21.7	17.9	50.0

図表36 市町村別旅行日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	577	71	57	37	33	29	22	21
1日未満	39.2	59.2	40.4	18.9	66.7	48.3	40.9	28.6
2日	22.7	4.2	36.8	27.0	3.0	10.3	13.6	14.3
3日以上	11.3	4.2	7.0	21.6	0.0	3.4	0.0	4.8
無回答	26.9	32.4	15.8	32.4	30.3	37.9	45.5	52.4

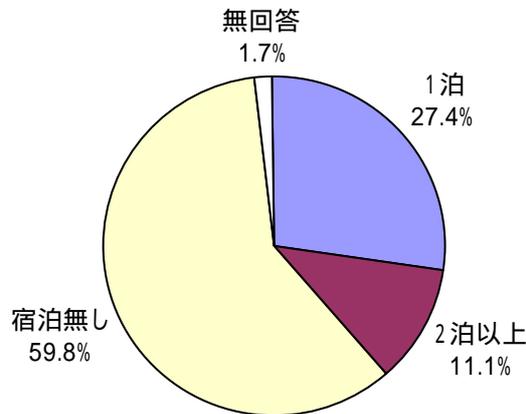
  

	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	20	20	18	14	12	12	10	10
1日未満	40.0	55.0	11.1	28.6	25.0	41.7	60.0	30.0
2日	10.0	35.0	38.9	64.3	8.3	8.3	20.0	50.0
3日以上	5.0	5.0	38.9	0.0	0.0	33.3	10.0	0.0
無回答	45.0	5.0	11.1	7.1	66.7	16.7	10.0	20.0

（２）札幌市内での宿泊

札幌市内での宿泊日数は、「宿泊しない」が最も多く59.8%となった。これは、旅行日数で1日未満が最も多かったことからもうかがえる。宿泊する場合は、「1泊」が27.4%、「2泊以上」が11.1%となっている。

図表37 札幌市内での宿泊日数（数量、N=577）



男女別にみると、どちらも「宿泊無し」が最も多いが、女性では「宿泊無し」が62.9%、「2泊以上」が12.1%と全体よりも高く、男性では「1泊」が32.1%と全体よりも高い割合となっている。

年齢別にみると、どの年齢でも「宿泊無し」が最も多いが、20才未満および20～29才でそれぞれ78.6%、65.7%と全体よりも高い割合となっている。また、30～39才、40～49才、50～59才では、「1泊」がそれぞれ36.6%、31.3%、30.0%と全体に比べ高い割合となっている。

職業別にみると、自営業では「宿泊無し」と「1泊」がともに47.2%となっているほかは、「宿泊無し」が最も高い割合となっており、特に学生では69.1%と高い。

図表38 男女別宿泊日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	577	240	315	22
宿泊無し	59.8	57.1	62.9	45.5
1泊	27.4	32.1	23.5	31.8
2泊以上	11.1	9.6	12.1	13.6
無回答	1.7	1.3	1.6	9.1

図表39 年齢別宿泊日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
宿泊無し	59.8	78.6	65.7	50.0	57.6	55.6	57.4	61.5
1泊	27.4	14.3	24.1	36.6	31.3	30.0	23.8	26.9
2泊以上	11.1	4.8	8.0	12.2	9.1	13.3	17.8	7.7
無回答	1.7	2.4	2.2	1.2	2.0	1.1	1.0	3.8

図表40 職業別宿泊日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・パート・アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	577	145	54	36	36	127	97	65	14	3
宿泊無し	59.8	55.9	59.3	47.2	61.1	60.6	69.1	58.5	64.3	66.7
1泊	27.4	35.2	25.9	47.2	27.8	22.0	19.6	21.5	28.6	33.3
2泊以上	11.1	5.5	14.8	5.6	11.1	16.5	8.2	20.0	0.0	0.0
無回答	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.8	3.1	0.0	7.1	0.0

同行者別にみると、その他では「1泊」が40.6%と最も高い割合となっているほかは、全体と同様に「宿泊無し」が最も多い。特に、同行者がいない場合は65.7%と全体に比べて高くなっている。

居住地別にみると、道南、オホーツク、根釧では「1泊」がそれぞれ42.9%、66.7%、46.2%と最も高い割合となっている。また、道央では「宿泊無し」が75.1%と全体に比べてその割合が高い。

図表41 同行者別宿泊日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	577	198	175	158	32	14
宿泊無し	59.8	60.6	65.7	57.0	34.4	64.3
1泊	27.4	30.3	20.6	29.7	40.6	14.3
2泊以上	11.1	7.1	12.6	11.4	25.0	14.3
無回答	1.7	2.0	1.1	1.9	0.0	7.1

図表42 居住地別宿泊日数（数量）

（単位：人、％）

	全体	道南	道央	道北	林-ツク	十勝	根釧	無回答
回答数	577	49	349	102	24	23	28	2
宿泊無し	59.8	20.4	75.1	49.0	20.8	47.8	21.4	50.0
1泊	27.4	42.9	18.3	38.2	66.7	21.7	46.4	0.0
2泊以上	11.1	36.7	4.0	11.8	12.5	30.4	32.1	50.0
無回答	1.7	0.0	2.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表43 市町村別宿泊日数（数量）

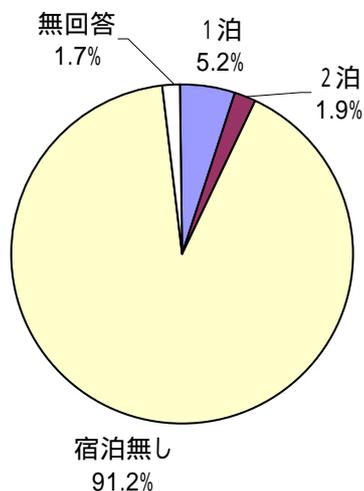
（単位：人、％）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	577	71	57	37	33	29	22	21
宿泊無し	59.8	84.5	49.1	21.6	93.9	75.9	86.4	66.7
1泊	27.4	11.3	38.6	45.9	3.0	13.8	13.6	23.8
2泊以上	11.1	1.4	10.5	32.4	0.0	6.9	0.0	9.5
無回答	1.7	2.8	1.8	0.0	3.0	3.4	0.0	0.0

	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	20	20	18	14	12	12	10	10
宿泊無し	80.0	65.0	16.7	35.7	83.3	41.7	60.0	50.0
1泊	10.0	30.0	44.4	57.1	16.7	25.0	20.0	50.0
2泊以上	5.0	0.0	38.9	7.1	0.0	33.3	10.0	0.0
無回答	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0

また、札幌市内への宿泊のうちで、定山溪での宿泊については「1泊」が5.2%、「2泊」が1.9%となり、それ以上の回答はなかった。

図表44 定山溪での宿泊（数量、N=577）

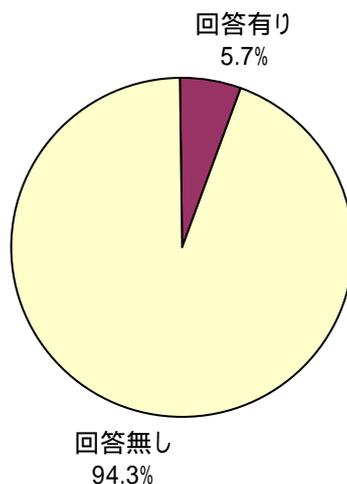


### （3）札幌市以外の訪問場所

今回の旅行で札幌市以外に訪問する場所を自由回答形式で尋ねたところ、札幌市訪問目的で「買い物・飲食」が多く、旅行日数も少ないことから推測されるように、札幌市以外に訪問する場所の回答は少なく、有効な回答は全体の5.7%（33件）であった。訪問する場所として回答が多かったのは「小樽」の7件、「洞爺湖」の6件であった。

回答無しが94.3%と大多数を占めており、この結果から旅行の訪問先として札幌市のみが目的地となっている場合が大多数を占めていると考えられる。

図表45 札幌市以外の訪問場所の回答状況（自由回答）



図表46 札幌市以外に訪問する場所（自由回答、M A）

回答数	場 所
7件	小樽
6件	洞爺湖
3件	富良野
2件	旭川、ニセコ
1件	層雲峡、余市、樺太、稚内、長万部、岩内、千歳、帯広、登別、厚田、苫小牧、芦別、江別、中山峠、大滝村、積丹、滝川、銭函

## 7. 旅行の楽しみ

今回の旅行の楽しみを自由回答形式で尋ねたところ、さまざまな回答が返ってきた。最も多い回答は「買い物・飲食」を含む回答で242件であった。全体的には特定の目的をあげる回答が多かったが、その他に「息抜き」や「札幌自体が楽しみ」など旅行という行為自体を楽しみとする回答がみられた。

図表47 旅行の楽しみ

		件数	代表的な回答
回答総数		464	
特定の目的が楽しみ	買い物・飲食	242	
	温泉	45	温泉めぐり、温泉・買い物
	家族や友人と会う	38	同好会の会合、友人たちと会う
	美術館・映画	36	ピカソ展、美術館めぐり、買い物・映画鑑賞
	スポーツ	35	野球観戦、マラソン大会
	イベント・コンサートなど	30	コンサート・食事・買い物
	その他	30	J Rタワー、小樽観光・札幌での買物、動物園
	趣味	12	ドライブ、写真を撮ること
旅行という行為が楽しみ		32	息抜き、のんびりする、いろいろなものを見ること、札幌自体が楽しみ

注：「買い物・映画鑑賞」のように複数の目的の回答があるため、各項目の件数の合計は回答総数と一致しない。

## 8．札幌での楽しみ

今回の旅行について、札幌での楽しみを自由回答形式で尋ねたところ、さまざまな回答が返ってきた。この設問でも旅行の楽しみと同様に具体的な事柄をあげる回答が多く、最も多かったのは前問と同様に「買い物・飲食」を含む回答で308件であった。次いで、「美術館めぐり」、「映画鑑賞」などを含む回答が33件であった。

また、こうした具体的な目的の他に、「いろいろな店があること」や「新製品を見つけること」など買い物の楽しみ方や、「他のまちにはないライブ・スポーツ・デパート」を楽しむ、「都会っぽい空気」を楽しむなどの定性的な回答がみられた。

図表48 札幌での楽しみ

		件数	代表的な回答
回答総数		428	
特定の目的が楽しみ	買い物・飲食	308	買い物、デパートめぐり、おいしいものを食べる、ススキノ
	美術館・映画	33	美術館めぐり、ピカソ展・買い物、映画・買い物
	スポーツ	23	マラソン大会、野球観戦
	その他	22	JRタワー、ファクトリー、色々
	イベント・コンサートなど	18	コンサート、イベント参加
	観光地めぐり	17	観光地めぐり、時計台での記念撮影
	家族や友人と会う	16	友人と飲んだりすること、友人と会う・買い物・食事
	温泉	7	温泉
	その他の趣味等	6	山に登ること、列車・バス・地下鉄などに乗ること、遊び
	動物園	3	孫との動物園見学
定性的な回答		17	いろいろな店があること、新製品を見つけること、夜のススキノというイメージ、旭川ではないライブ・スポーツ観戦・デパート、都会っぽい空気、知らないところへ行くこと

注：「買い物・映画鑑賞」のように複数の目的の回答があるため、各項目の件数の合計は回答総数と一致しない。

## 9. 旅行消費額

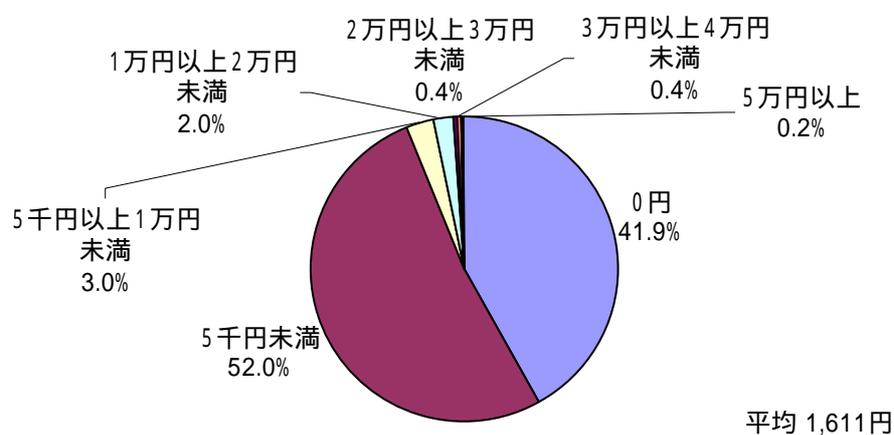
今回の旅行について、札幌市内での各種の消費金額（予定を含む）を尋ねた。集計結果は以下のとおりである。

### (1) 市内交通費

札幌市内での交通費は、「5千円未満」が52.0%と最も多く、次いで「0円」が41.9%となった。この結果は、訪問場所で札幌駅前デパート等やJRタワーが多かったことや、交通機関としてJRやバスの利用者が多かったことと合致している。また、「4万円以上5万円未満」の回答はなかった。

市内交通費の有効回答は496件であり、平均消費額は1,611円となった。

図表49 市内交通費（数量、N=496）



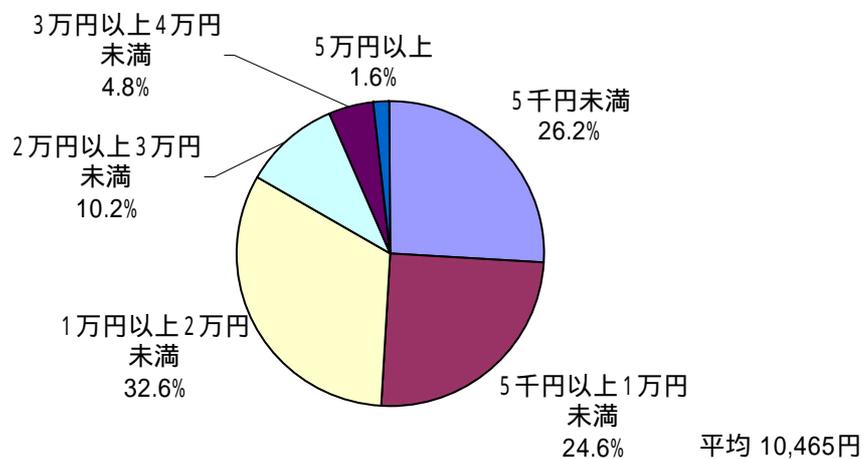
(2) 宿泊費

札幌市内の宿泊費については、旅行の日程で札幌市内に宿泊すると回答した者の中から有効回答を集計した。宿泊費で最も多かったのは「1万円以上2万円未満」の32.6%であり、次いで「5千円以上1万円未満」が24.6%となった。また、「4万円以上5万円未満」の回答はなかった。

宿泊費の有効回答数は187件であり、平均消費額は10,465円となった。

男女別にみると、男性は「5千円未満」と「2万円以上」で全体より高い割合となっており、女性は「5千円以上1万円未満」、「1万円以上2万円未満」で全体よりも高い。宿泊費の平均は男性が11,341円、女性が9,752円となり、男性が若干高い結果となった。

図表50 宿泊費（数量、N=187）



図表51 男女別宿泊費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	187	82	97	8
5千円未満	26.2	29.3	23.7	25.0
5千円以上1万円未満	24.6	19.5	28.9	25.0
1万円以上2万円未満	32.6	31.7	33.0	37.5
2万円以上	16.6	19.5	14.4	12.5
平均	10,465	11,341	9,752	-

注：2万円以上の階級を一つの階級とした。以下の各表でも同様。

年齢別にみると、20才代では「5千円未満」の割合が最も高く、20才未満では50.0%、20～29才では36.8%となっている。一方、40才以上の各年齢では「1万円以上2万円未満」が最も高い割合となっている。宿泊費の平均は40～49才が最も高く16,094円、20才未満が最も低く6,125円となっている。

職業別にみると、公務員では「2万円以上」が30.0%と最も高く、派遣・パート・アルバイトでは「5千円以上1万円未満」が33.3%、学生では「5千円未満」が37.5%と最も高い。宿泊費の平均はその他が最も高く22,500円、学生が最も低く6,542円となった。

図表52 年齢別宿泊費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	187	8	38	34	32	33	34	8
5千円未満	26.2	50.0	36.8	14.7	15.6	21.2	32.4	37.5
5千円以上1万円未満	24.6	37.5	28.9	35.3	18.8	21.2	14.7	25.0
1万円以上2万円未満	32.6	0.0	26.3	23.5	40.6	45.5	38.2	25.0
2万円以上	16.6	12.5	7.9	26.5	25.0	12.1	14.7	12.5
平均	10,465	6,125	7,195	10,706	16,094	11,258	9,235	-

図表53 職業別宿泊費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・パート・アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	187	48	20	15	12	47	24	18	2	1
5千円未満	26.2	29.2	25.0	20.0	25.0	19.1	37.5	33.3	0.0	0.0
5千円以上1万円未満	24.6	25.0	25.0	20.0	33.3	23.4	33.3	16.7	0.0	0.0
1万円以上2万円未満	32.6	31.3	20.0	46.7	16.7	40.4	25.0	33.3	50.0	100.0
2万円以上	16.6	14.6	30.0	13.3	25.0	17.0	4.2	16.7	50.0	0.0
平均	10,465	10,458	12,800	11,067	10,908	11,106	6,542	9,333	22,500	-

同行者別にみると、いないでは「5千円未満」が34.8%と最も高くなっているが、それ以外では全体と同様に「1万円以上2万円未満」が最も多い。宿泊費の平均にそれほど差はないが、いないでは8,402円、友人では10,331円となり、全体の平均を下回っている。

居住地別にみると、道南では「5千円未満」と「2万円以上」がともに31.3%と最も高く、オホーツクでは「5千円以上1万円未満」が43.8%と最も高い。宿泊費の平均はオホーツクが最も高く11,313円となった。逆に最も低いのは根釧であり8,389円であった。

図表54 同行者別宿泊費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	187	63	46	61	15	2
5千円未満	26.2	25.4	34.8	21.3	13.3	100.0
5千円以上1万円未満	24.6	25.4	21.7	26.2	26.7	0.0
1万円以上2万円未満	32.6	28.6	30.4	36.1	46.7	0.0
2万円以上	16.6	20.6	13.0	16.4	13.3	0.0
平均	10,465	11,937	8,402	10,331	12,267	-

図表55 居住地別宿泊費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	道南	道央	道北	林-ツク	十勝	根釧	無回答
回答数	187	32	68	41	16	10	19	1
5千円未満	26.2	31.3	23.5	26.8	12.5	40.0	31.6	0.0
5千円以上1万円未満	24.6	15.6	29.4	24.4	43.8	0.0	21.1	0.0
1万円以上2万円未満	32.6	21.9	38.2	29.3	25.0	50.0	36.8	0.0
2万円以上	16.6	31.3	8.8	19.5	18.8	10.0	10.5	100.0
平均	10,465	10,703	10,544	10,634	11,313	9,100	8,389	-

図表56 市町村別宿泊費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	187	8	22	24	0	2	3	6
5千円未満	26.2	25.0	22.7	29.2	-	50.0	0.0	0.0
5千円以上1万円未満	24.6	25.0	36.4	16.7	-	50.0	33.3	16.7
1万円以上2万円未満	32.6	37.5	22.7	29.2	-	0.0	66.7	66.7
2万円以上	16.6	12.5	18.2	25.0	-	0.0	0.0	16.7
平均	10,465	9,000	10,091	10,375	-	4,000	11,000	26,333

	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	2	6	14	8	2	6	2	5
5千円未満	0.0	33.3	42.9	25.0	50.0	33.3	0.0	20.0
5千円以上1万円未満	0.0	66.7	21.4	12.5	50.0	0.0	0.0	60.0
1万円以上2万円未満	0.0	0.0	28.6	50.0	0.0	50.0	100.0	20.0
2万円以上	100.0	0.0	7.1	12.5	0.0	16.7	0.0	0.0
平均	30,000	5,000	6,886	8,875	3,500	10,833	13,500	8,200

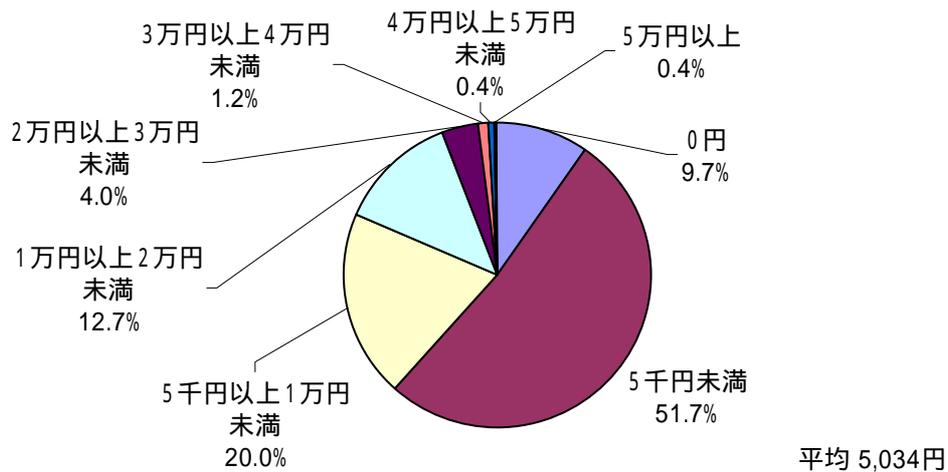
(3) 飲食費

札幌市内で消費する飲食費は、「5千円未満」が最も多く51.7%と半数を超えた。次いで、「5千円以上1万円未満」が20.0%となった。

飲食費の有効回答数は505件であり、平均消費額は5,034円となった。

男女別にみると、女性は「5千円未満」が69.3%と7割弱となっている。飲食費の平均は男性が6,508円、女性が3,955円となり、男性が女性を上回っている。

図表57 飲食費（数量、N=505）



図表58 男女別飲食費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	505	205	283	17
5千円未満	61.4	50.2	69.3	64.7
5千円以上1万円未満	20.0	23.9	17.0	23.5
1万円以上	18.6	25.9	13.8	11.8
平均	5,034	6,508	3,955	-

注：1万円以上の階級を一つにまとめた。以下の各表でも同様である。

年齢別にみると、20才未満では「5千円未満」が89.7%と9割弱となっているほか、「20～29才」でも63.6%、「60才以上」でも66.3%と全体よりも高くなっている。飲食費の平均が最も高いのは50～59才で6,756円、最も低いのは20才未満で2,008円となった。

職業別にみると、公務員、学生、その他で「5千円未満」の割合が高く、それぞれ62.0%、74.7%、90.9%となっている。飲食費の平均は会社員が最も高く6,266円、その他が最も低く1,955円となった。

同行者別にみると、いないでは「5千円未満」が75.3%と最も高い割合となっている。飲食費の平均にそれほど大きな差はみられないが、最も高いのは友人で5,719円となった。

図表59 年齢別飲食費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	505	39	129	72	83	77	83	22
5千円未満	61.4	89.7	63.6	51.4	54.2	53.2	66.3	68.2
5千円以上1万円未満	20.0	7.7	22.5	20.8	21.7	24.7	16.9	13.6
1万円以上	18.6	2.6	14.0	27.8	24.1	22.1	16.9	18.2
平均	5,034	2,008	3,957	5,979	6,161	6,756	4,602	-

図表60 職業別飲食費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・パート・アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	505	121	50	32	31	116	91	51	11	2
5千円未満	61.4	55.4	62.0	46.9	51.6	60.3	74.7	60.8	90.9	100.0
5千円以上1万円未満	20.0	21.5	16.0	37.5	16.1	23.3	13.2	19.6	9.1	0.0
1万円以上	18.6	23.1	22.0	15.6	32.3	16.4	12.1	19.6	0.0	0.0
平均	5,034	6,266	6,042	5,406	5,548	4,548	3,349	5,471	1,955	-

図表61 同行者別飲食費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	505	174	154	143	25	9
5千円未満	61.4	55.7	75.3	53.1	56.0	77.8
5千円以上1万円未満	20.0	27.0	8.4	23.8	24.0	11.1
1万円以上	18.6	17.2	16.2	23.1	20.0	11.1
平均	5,034	4,797	4,748	5,719	5,260	-

居住地別にみると、来札目的で観光地めぐりが多かった道南、根釧で高くなっており、「1万円以上」がそれぞれ50.0%、45.5%と最も高い。また、道央、十勝では「5千円未満」がそれぞれ71.6%、64.7%と最も高くなっている。飲食費の平均は道南が最も高く11,095円、道央が最も低く3,572円となった。

図表62 居住地別飲食費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	道南	道央	道北	林-ツツ	十勝	根釧	無回答
回答数	505	42	317	84	21	17	22	2
5千円未満	61.4	35.7	71.6	53.6	28.6	64.7	27.3	0.0
5千円以上1万円未満	20.0	14.3	18.3	25.0	28.6	17.6	27.3	50.0
1万円以上	18.6	50.0	10.1	21.4	42.9	17.6	45.5	50.0
平均	5,034	11,095	3,572	5,217	7,524	4,765	10,068	-

図表63 市町村別飲食費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	505	66	48	32	31	23	20	18
5千円未満	61.4	66.7	54.2	37.5	93.5	78.3	65.0	55.6
5千円以上1万円未満	20.0	19.7	22.9	15.6	3.2	17.4	25.0	27.8
1万円以上	18.6	13.6	22.9	46.9	3.2	4.3	10.0	16.7
平均	5,034	3,803	5,025	11,953	1,644	2,217	3,500	5,000

	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	18	18	16	12	12	9	9	10
5千円未満	77.8	72.2	25.0	25.0	100.0	55.6	66.7	80.0
5千円以上1万円未満	11.1	22.2	37.5	58.3	0.0	22.2	22.2	20.0
1万円以上	11.1	5.6	37.5	16.7	0.0	22.2	11.1	0.0
平均	3,156	4,528	8,063	5,083	1,500	6,611	3,611	2,870

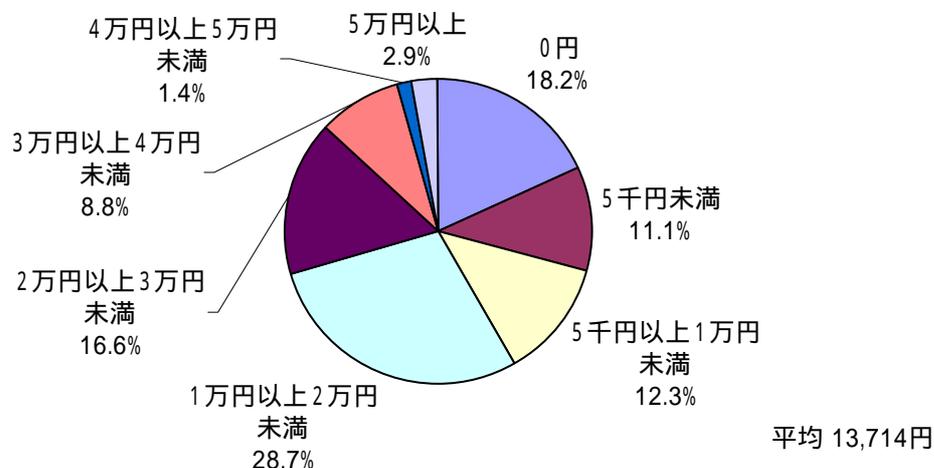
(4) 買い物費

札幌市内で買い物をする金額は、「1万円以上2万円未満」が28.7%と最も多く、次いで、「2万円以上3万円未満」が16.6%、「5千円以上1万円未満」が12.3%などとなっており、金額が分散している。

買い物費の有効回答数は488件であり、平均消費額は13,714円となった。

男女別にみると、男性は「0円」が29.7%と最も高いが、「3万円以上」も15.6%と全体を上回っている。平均消費額は男性が15,279円、女性が12,924円となり、若干男性が高い結果となった。

図表64 買い物費（数量、N=488）



図表65 男女別買い物費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	男性	女性	無回答
回答数	488	192	277	19
0円	18.2	29.7	10.8	10.5
5千円未満	11.1	8.9	11.9	21.1
5千円以上1万円未満	12.3	12.0	12.3	15.8
1万円以上2万円未満	28.7	21.4	33.6	31.6
2万円以上3万円未満	16.6	12.5	19.5	15.8
3万円以上	13.1	15.6	11.9	5.3
平均	13,714	15,279	12,924	-

注：3万円以上の階級を一つにまとめた。以下の各表でも同様である。

年齢別にみると、30～39才、50～59才、60才以上で「0円」が最も高く、それぞれ26.1%、22.9%、24.1%となった。平均消費額が最も高いのは30～39才で17,341円、最も低いのは60才以上で11,601円となった。

職業別にみると、公務員、自営業で「0円」が最も高く、それぞれ30.4%、38.7%となっている。また、無職では「0円」と「2万円以上3万円未満」がともに28.3%と最も高い。平均消費額は自営業が最も高く19,694円、その他が最も低く10,920円となった。

図表66 年齢別買い物費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	488	39	126	69	82	70	79	23
0円	18.2	5.1	11.9	26.1	18.3	22.9	24.1	17.4
5千円未満	11.1	12.8	7.9	7.2	9.8	15.7	11.4	26.1
5千円以上1万円未満	12.3	15.4	11.1	13.0	13.4	10.0	11.4	17.4
1万円以上2万円未満	28.7	41.0	37.3	21.7	34.1	20.0	20.3	17.4
2万円以上3万円未満	16.6	12.8	17.5	20.3	8.5	18.6	21.5	13.0
3万円以上	13.1	12.8	14.3	11.6	15.9	12.9	11.4	8.7
平均	13,714	12,664	13,321	17,341	16,744	11,871	11,601	-

図表67 職業別買い物費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	会社員	公務員	自営業	派遣・ パート・ アルバイト	専業主婦	学生	無職	その他	無回答
回答数	488	118	46	31	30	113	91	46	11	2
0円	18.2	17.8	30.4	38.7	13.3	12.4	9.9	28.3	18.2	0.0
5千円未満	11.1	7.6	4.3	12.9	13.3	15.9	9.9	15.2	9.1	0.0
5千円以上1万円未満	12.3	14.4	13.0	12.9	16.7	9.7	13.2	6.5	18.2	0.0
1万円以上2万円未満	28.7	25.4	26.1	16.1	23.3	35.4	38.5	13.0	27.3	100.0
2万円以上3万円未満	16.6	16.1	15.2	9.7	13.3	15.9	17.6	28.3	9.1	0.0
3万円以上	13.1	18.6	10.9	9.7	20.0	10.6	11.0	8.7	18.2	0.0
平均	13,714	14,602	16,685	19,694	15,433	11,673	12,724	11,120	10,920	-

同行者別にみると、家族、いない、友人では全体と同様に「1万円以上2万円未満」が最も多い。また、家族では「0円」も22.6%と全体を上回っている。平均消費額はそのほか9,432円と低いほかは、全体の平均に近い消費額となっている。最も高いのは友人の15,393円であった。

居住地別にみると、道南では「3万円以上」が22.0%と最も高く、オホーツクでは「0円」が31.6%と最も高い割合となっている。平均消費額が最も高いのは道北で17,182円、最も低いのは十勝で10,789円となった。また、道北の他に全体の平均を上回っているのは道南の16,341円である。

図表68 同行者別買い物費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	家族	いない	友人	その他	無回答
回答数	488	168	149	139	22	10
0円	18.2	22.6	16.1	14.4	22.7	20.0
5千円未満	11.1	10.1	10.1	10.8	27.3	10.0
5千円以上1万円未満	12.3	16.7	12.8	9.4	0.0	0.0
1万円以上2万円未満	28.7	23.8	30.9	33.1	27.3	20.0
2万円以上3万円未満	16.6	13.7	17.4	18.0	13.6	40.0
3万円以上	13.1	13.1	12.8	14.4	9.1	10.0
平均	13,714	13,342	13,167	15,393	9,432	-

図表69 居住地別買い物費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	道南	道央	道北	オホーツク	十勝	根釧	無回答
回答数	488	41	308	77	19	19	22	2
0円	18.2	12.2	18.8	19.5	31.6	10.5	13.6	0.0
5千円未満	11.1	17.1	11.0	14.3	0.0	0.0	9.1	0.0
5千円以上1万円未満	12.3	14.6	11.4	11.7	10.5	26.3	9.1	50.0
1万円以上2万円未満	28.7	17.1	29.5	23.4	21.1	47.4	45.5	50.0
2万円以上3万円未満	16.6	17.1	16.2	18.2	26.3	15.8	9.1	0.0
3万円以上	13.1	22.0	13.0	13.0	10.5	0.0	13.6	0.0
平均	13,714	16,341	12,969	17,182	11,579	10,789	12,045	-

図表70 市町村別買い物費（数量）

（単位：人、%、円）

	全体	小樽市	旭川市	函館市	江別市	岩見沢市	恵庭市	苫小牧市
回答数	488	67	42	31	30	23	20	18
0円	18.2	7.5	26.2	6.5	16.7	13.0	25.0	33.3
5千円未満	11.1	9.0	14.3	12.9	26.7	8.7	5.0	0.0
5千円以上1万円未満	12.3	11.9	9.5	19.4	20.0	26.1	5.0	5.6
1万円以上2万円未満	28.7	35.8	21.4	19.4	23.3	21.7	25.0	44.4
2万円以上3万円未満	16.6	19.4	16.7	19.4	6.7	21.7	20.0	11.1
3万円以上	13.1	16.4	11.9	22.6	6.7	8.7	20.0	5.6
平均	13,714	13,955	11,714	17,484	8,351	11,935	14,700	9,444

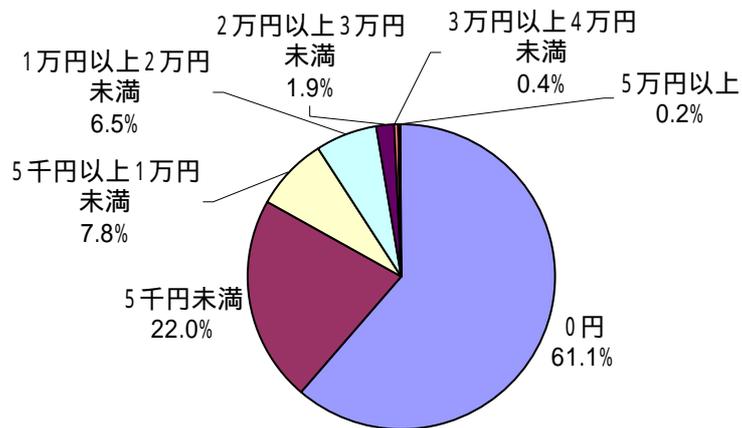
	千歳市	室蘭市	釧路市	富良野市	北広島市	帯広市	岩内町	余市町
回答数	15	17	16	11	12	9	9	9
0円	26.7	11.8	12.5	0.0	25.0	22.2	22.2	44.4
5千円未満	6.7	17.6	6.3	9.1	25.0	0.0	0.0	0.0
5千円以上1万円未満	6.7	23.5	12.5	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0
1万円以上2万円未満	20.0	5.9	43.8	63.6	16.7	33.3	33.3	44.4
2万円以上3万円未満	6.7	17.6	6.3	27.3	25.0	11.1	22.2	11.1
3万円以上	33.3	23.5	18.8	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
平均	15,533	13,000	13,250	12,000	10,708	8,667	10,000	6,667

( 5 ) 遊興・娯楽費

札幌市内にある各種施設入場料などの遊興・娯楽費は、「0円」が61.1%と最も多く、次いで「5千円未満」が22.0%となり、低い金額の回答が多かった。

遊興・娯楽費の有効回答数は463件であり、平均消費額は2,126円となった。

図表71 遊興・娯楽費（数量、N=463）



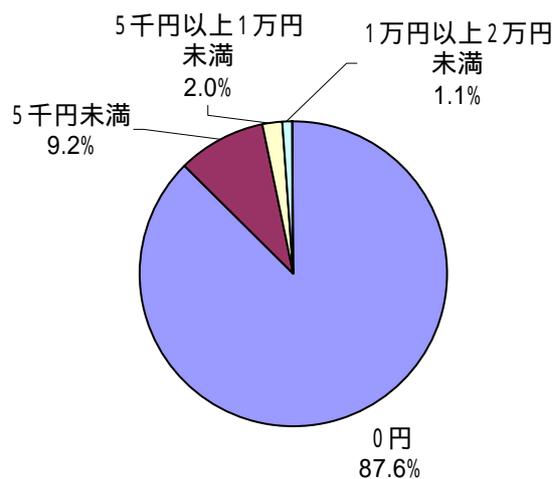
平均 2,126円

( 6 ) 雑費

札幌市内での(1)～(5)に含まれない消費額(雑費)は、大半の87.6%が「0円」と回答した。

有効回答件数は444件であり、平均消費額は359円となった。

図表72 雑費費（数量、N=444）



平均 359円

## 調査結果のまとめと分析

### 1. 居住地別にみる札幌観光の特徴

北海道を6つの圏域、道南、道央、道北、オホーツク、十勝、根釧に分けると、それぞれの圏域ごとに来札目的の特徴があり、類似する圏域でまとめることができる。一つは、来札目的として買い物・飲食が多い圏域であり、道央、十勝がこれに当たる。この二つの圏域では、来札目的のうち「買い物・飲食」が半数を超える（p12、図表20）。

もう一つは、来札目的として観光地めぐりが多い圏域であり、道南および根釧がこれに当たる。この二つの圏域では、来札目的のうち「観光地めぐり」が半数を超えている（p12、図表20）。

最後の一組は、道北とオホーツクである。この二つの圏域では、来札目的のうち半数以上の回答を集めた項目がなく、他の圏域に比べ回答がばらついているといえる（p12、図表20）。

それぞれの圏域別に札幌市内で訪問する場所の上位をみると、まず来札目的として買い物・飲食が多い道央および十勝では、訪問場所の1位から3位までは同じであり、「札幌駅前デパート等」、「JRタワー」、「大通近辺デパート等」などの買い物施設関連が上位を占めている。

観光地めぐりが多数を占める道南および根釧では、ともに1位が「JRタワー」、2位が「札幌駅前デパート等」となっている。また、「時計台」や「定山溪温泉」などその他の圏域では上位にない場所があげられている。

来札目的のばらつきが多い道北およびオホーツクでは、訪問する場所でもばらつきがあり、1位はともに「札幌駅前デパート等」となったが、「札幌ドーム」や「すすきの」、「真駒内公園」など様々な場所があげられている。

また、圏域別に札幌市内で宿泊する割合をみると、道央では2割強、道北および十勝では5割前後、道南、オホーツク、根釧では8割程度となっている（p25、図表42）。

図表73 圏域別訪問場所の上位

(括弧内は全体での順位)

買い物・飲食が多数	
道央	十勝
1位 札幌駅前デパート等(1)	1位 札幌駅前デパート等(1)
2位 JRタワー(2)	1位 JRタワー(2)
3位 大通近辺デパート等(3)	3位 大通近辺デパート等(3)
4位 狸小路商店街(5)	4位 北海道立近代美術館(4)
5位 北海道立近代美術館(4)	注: 十勝の5位以下は回答数が1件

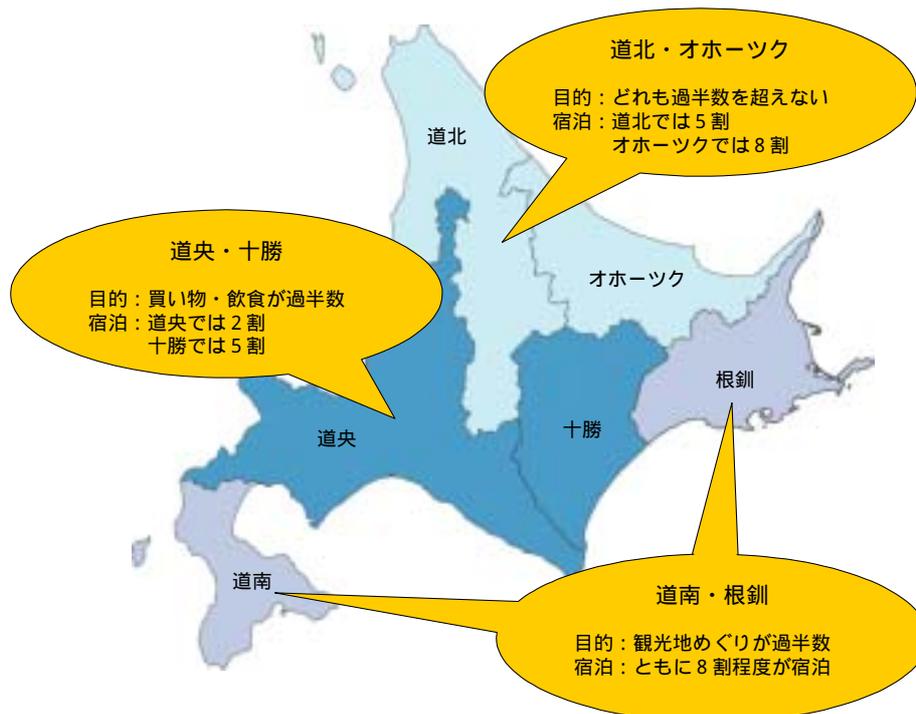
  

観光地めぐりが多数	
道南	根釧
1位 JRタワー(2)	1位 JRタワー(2)
2位 札幌駅前デパート等(1)	2位 札幌駅前デパート等(1)
2位 大通近辺デパート等(3)	2位 北海道立近代美術館(4)
4位 時計台(8)	4位 大通近辺デパート等(3)
5位 札幌ドーム(6)	5位 すずきの(7)
5位 定山溪温泉(8)	6位 時計台(8)
5位 サッポロファクトリー(10)	

目的にばらつきがある	
道北	オホーツク
1位 札幌駅前デパート等(1)	1位 札幌駅前デパート等(1)
2位 JRタワー(2)	2位 大通近辺デパート等(3)
2位 北海道立近代美術館(4)	2位 北海道立近代美術館(4)
4位 大通近辺デパート等(3)	2位 すずきの(7)
4位 札幌ドーム(6)	5位 JRタワー(2)
注: 道北では6位以下は同率が多数	5位 真駒内公園(競技場、アリーナ)(14)
	5位 厚生年金会館(17)

図表74 居住地別札幌観光の特徴



## 2. 旅行者の属性別にみる札幌観光の特徴

札幌観光の目的として最も多かったのは「買い物・飲食」であり、全体での割合は54.1%と、2番目に高かった「観光地めぐり」の22.9%と比べて30ポイント以上高くなっている。このため、男女別や年齢別などの結果をみても、「買い物・飲食」の割合が相対的に高く、特徴を捉えづらい。

しかしながら、札幌観光の目的を「買い物・飲食」とそれ以外の目的の2つに区分し、旅行者の属性別に調査結果をみると、いくつかの特徴があることがわかる。まず、男女別にみると、女性の場合は「買い物・飲食」の割合がそれ以外の割合よりも高く、札幌観光として買い物や飲食が主な目的の一つとなっていることがわかる。逆に、男性はその他が66.7%と「買い物・飲食」を上回っている。

同じように同行者別にみると、家族ではその他の割合が58.6%と「買い物・飲食」を上回っている。また、友人では両者の割合が同程度でともに全体より高くなっており、買い物や飲食とその他の組み合わせも比較的に多くなっていることがわかる。特に、友人を同行者とするのは、女性、若年層に多かったことから、若年層の女性の特徴としてとらえることができる。

図表75 男女別札幌に来た目的（買い物・飲食とそれ以外）

（単位：人、％）

	全体	男性	女性
回答件数	577	240	315
買い物・飲食	54.1	42.9	63.8
その他	58.2	66.7	51.4

図表76 同行者別札幌に来た目的（買い物・飲食とそれ以外）

（単位：人、％）

	全体	いない	家族	友人
回答数	577	175	198	158
買い物・飲食	54.1	61.1	49.5	57.0
その他	58.2	46.3	58.6	60.8

より特徴的なのは年齢別の来札目的である。来札目的として最も多いのは、どの年齢でも「買い物・飲食」であるが、来札目的を「買い物・飲食」とそれ以外に分けると、年齢が上昇するにしたがってその他の割合が高くなる傾向にあり、特に、「20才未満」では28.6%と際だって低く、「20～29才」でも42.3%と他の年齢層に比べると低い割合となっている。一方で、30才以上の各年齢層では、その他の割合が「買い物・飲食」の割合を上回っており、60才以上では74.3%と「買い物・飲食」の47.5%に比べ30ポイント近く高い割合となっている。

図表77 年齢別札幌に来た目的（買い物・飲食とそれ以外）

（単位：人、％）

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上
回答数	577	42	137	82	99	90	101
買い物・飲食	54.1	81.0	62.8	47.6	50.5	50.0	47.5
その他	58.2	28.6	42.3	63.4	60.6	71.1	74.3

年齢層を30才未満と30才以上に分けると、以下のように札幌観光の特徴をまとめることができる。

（1）30才未満の札幌観光

30才未満では「買い物・飲食」が主な来札目的であり、年齢が低くなるほどその傾向が強いといえる。道央圏からの来札が多く（p9、図表14）、特に20才未満では女性の割合が高い（p4、図表5）。旅行の同行者は友人かあるいは一人での来札が多く（p6、図表9）、訪問場所もデパート等があるところに集中している。また、旅行日数は1日未満が多く、20才未満では8割弱が、20～29才でも7割弱が札幌での宿泊をしない（p24、図表39）。

札幌での消費金額は、買い物が平均で12,664円（20才未満）、13,321円（20～29才）、飲食が平均で2,008円（20才未満）、3,957円（20～29才）であり、全体の平均よりも低い。

図表78 若年層の訪問場所の上位

（括弧内は全体での順位）

20才未満	20～29才
1位 札幌駅前デパート等（1）	1位 札幌駅前デパート等（1）
2位 JRタワー（2）	2位 大通近辺デパート等（3）
3位 大通近辺デパート等（3）	3位 JRタワー（2）
4位 狸小路商店街（5）	4位 狸小路商店街（5）
注：20才未満では5位以下は同率が多数	5位 すずきの（7）

( 2 ) 30才以上の札幌観光

この年齢層では、来札目的で「買い物・飲食」の割合よりもそれ以外の割合の合計が高く、多目的型の札幌観光といえる。また、この年齢層では、最も多い旅行の同行者が「家族」であることも共通している（p6、図表9）。

しかしながら、この年齢層でもより細かく区分してみると、来札目的に違いが現れる。図表79は、30才以上の年齢層で同行者が家族の場合といない場合の来札目的を示したものである。

まず「買い物・飲食」の割合をみると、「40～49才」では家族で来札している場合が同行者がいない場合より高い割合となっているが、その他の年齢層ではいずれも同行者がいない場合に高い割合となっている。また、「観光地めぐり」の割合をみると、「30～39才」と「60才以上」では、同行者がいない場合の割合が極端に低くなっている。このように、30才以上の年齢層は、誰と札幌に来るかによってその目的が左右される年齢層といえよう。

図表79 年齢層別家族・同行者なしの別札幌に来た目的

(単位：人、%)

	全体	30～39才		40～49才		50～59才		60才以上	
		家族	いない	家族	いない	家族	いない	家族	いない
回答数	577	35	24	51	31	36	20	45	32
買い物・飲食	54.1	37.1	75.0	58.8	48.4	47.2	65.0	37.8	50.0
観光地めぐり	22.9	22.9	4.2	19.6	19.4	19.4	15.0	35.6	9.4
イベント参加見物	11.1	34.3	12.5	7.8	12.9	8.3	5.0	13.3	12.5
芸術鑑賞	8.8	2.9	4.2	5.9	12.9	16.7	20.0	4.4	15.6
温泉等	6.6	5.7	0.0	7.8	3.2	8.3	0.0	11.1	9.4
スポーツ	5.7	5.7	8.3	3.9	9.7	8.3	5.0	8.9	6.3
その他の教養娯楽	2.4	0.0	4.2	2.0	6.5	2.8	0.0	2.2	6.3
キャンプ	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注：網掛け部は同行者によって特に異なる目的

この年齢層の訪問場所の上位は、30～39才では家族での来札が多いことから、「円山動物園」など家族で楽しめる場所が上位にある。また、どの年齢でも「道立近代美術館」が比較的上位にあり、50～59才や60才以上では「定山溪温泉」も比較的上位にある。このように、買い物や飲食が多数であった30才未満とは異なり、さまざまな目的がこの年齢層にはあることをうかがわせる。

図表80 30才以上の訪問場所の上位

(括弧内は全体での順位)

30～39才	40～49才
1位 札幌駅前デパート等(1)	1位 札幌駅前デパート等(1)
2位 JRタワー(2)	2位 JRタワー(2)
3位 円山動物園(16)	3位 大通近辺デパート等(3)
4位 大通近辺デパート等(3)	4位 北海道立近代美術館(4)
4位 北海道立近代美術館(4)	5位 札幌ドーム(6)
4位 狸小路商店街(5)	5位 すすきの(7)
4位 札幌ドーム(6)	

50～59才	60才以上
1位 札幌駅前デパート等(1)	1位 札幌駅前デパート等(1)
2位 北海道立近代美術館(4)	2位 JRタワー(2)
3位 JRタワー(2)	2位 大通近辺デパート等(3)
4位 大通近辺デパート等(3)	4位 時計台(8)
4位 狸小路商店街(5)	5位 北海道立近代美術館(4)
4位 定山溪温泉(9)	5位 定山溪温泉(9)

### 30～39才

来札目的として「買い物・飲食」の割合が5割以下と比較的低く、「観光地めぐり」や「イベント参加見物」の割合が比較的高い(p11、図表17)。同行者が家族の場合は特にこの傾向にあるが、同行者がいない場合は「買い物・飲食」の割合が高くなり、「観光地めぐり」の割合が低くなる。

札幌市内で宿泊する割合は48.8%と年齢別では最も高く(p24、図表39)、宿泊費は「5千円以上1万円未満」が最も多い(p31、図表52)。平均消費額は、宿泊費が10,706円、飲食費が5,979円、買い物費が17,341円であり、いずれも全体の平均より高い。

### 40～49才

来札目的として「観光地めぐり」、「芸術鑑賞」、「スポーツ」、「その他の教養娯楽」で全体の割合を上回っている(p11、図表17)。旅行の同行者は家族かいない場合が8割以上となっており(p6、図表9)、同行者が家族の場合は「買い物・飲食」を目的とする割合が高くなる。

札幌市で宿泊する割合は4割程度であり(p24、図表39)、宿泊費は「1万円以上2万円未満」が最も多い(p31、図表52)。平均消費額は宿泊費が16,094円であり、年齢別では最も高い。また、飲食費は6,161円、買い物費は16,744円であり、いずれも全体の平均を上回っている。

### 50～59才

来札目的として「観光地めぐり」、「芸術鑑賞」、「温泉等」、「スポーツ」、「その他の教養娯楽」など6項目で全体の割合を上回っており、もっとも多目的な年齢層といえる(p11、図表17)。旅行の同行者は、「家族」、「友人」、「いない」の順に多い(p6、

図表9)。

札幌市内で宿泊する割合は4割強であり(p24、図表39)、宿泊費は「1万円以上2万円未満」の割合が高い(p31、図表52)。平均消費額は宿泊費が11,258円であり全体の平均より高い。また、飲食費は6,756円で年齢別では最も高いが、買い物費は11,871円で全体の平均以下である。

#### 60才以上

来札目的として「観光地めぐり」、「温泉等」の割合が他の年齢に比べ高いが、その一方で「買い物・飲食」の割合は最も低い(p11、図表17)。旅行の同行者は、「家族」、「いない」の順に多く、この二つで8割弱を占める(p6、図表9)。また、「30~39才」と同様に、同行者が家族の場合は「観光地めぐり」の割合が高くなり、同行者がいない場合は「買い物・飲食」の割合が高くなる。

札幌市内で宿泊する割合は4割強であり(p24、図表39)、宿泊費は「1万円以上2万円未満」と「5千円未満」の割合が高い(p31、図表52)。平均消費額は宿泊費が9,235円、飲食費が4,602円、買い物費が11,601円であり、いずれも全体の平均以下である。

### 3. 来札目的別にみる旅行者の属性

ここでは来札目的ごとに旅行者の属性をまとめる。ただし、本調査で実施したアンケート調査では来札目的は複数回答であり、加えて買い物・飲食が相当多い結果となった。そこで、買い物・飲食とそれ以外の目的を分離し、それぞれの特徴を捉えることとする。

#### (1) 買い物・飲食

買い物・飲食は来札目的のうちで最も多数を占めた目的である。しかし、この目的は観光地めぐりや温泉などのその他の目的とともに来札目的の一つになっていることが考えられる。それでは、実際に買い物・飲食のみを目的とした来札はどの程度であろうか。

図表81および82は、来札目的で買い物・飲食と回答し、その他の目的を回答しなかった件数(以下、買い物・飲食のみという)の割合である。来札目的が買い物・飲食のみとの回答は全体で260件であり45.1%を占める。全体での買い物・飲食の割合の54.1%と比べると1割程度少なくなっているが、それでも最も多い来札目的である。

これを、圏域別および旅行者の年齢別にみると、圏域別では道央、年齢別では30才未満で買い物・飲食のみの割合が高くなっており、特にもとの買い物・飲食の割合と比べてもその差が少ない。これによっても道央からの30才未満の来札目的は買い物・飲食が多数であり、しかもそれが主目的であることが確認できる。

また、圏域別にみると十勝でも比較的の高い割合となっている。また、十勝や道北では

もとの買い物・飲食の割合と比べてもその差が比較的小さく、特に十勝からの来札では買い物・飲食を主目的ととらえることができる。

その一方で、観光地めぐりが来札目的の半数以上であった道南や根釧では、差分が2割前後と比較的に大きく、買い物・飲食がそれ以外の目的との組み合わせとなる場合が多いことがわかる。ただし、道南や根釧、オホーツクでも、割合は低いが買い物・飲食のみを目的に来札している場合があり、札幌での楽しみ（p28、図表48）でみたように、他の地域にはない買い物や飲食の場があるという、道内観光客に対する札幌の魅力を端的に表していると言えよう。

図表81 圏域別買い物・飲食のみの割合

(単位：人、%)

	全体	道南	道央	道北	オホーツク	十勝	根釧	無回答
回答数	577	49	349	102	24	23	28	2
買い物・飲食のみ	45.1	12.2	56.4	34.3	16.7	43.5	25.0	50.0
買い物・飲食	54.1	36.7	63.0	41.2	29.2	52.2	42.9	50.0
差分	9.0	24.5	6.6	6.9	12.5	8.7	17.9	0.0

注：網掛け部は最も差分が小さい圏域

図表82 年齢別買い物・飲食のみの割合

(単位：人、%)

	全体	20才未満	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	無回答
回答数	577	42	137	82	99	90	101	26
買い物・飲食のみ	45.1	71.4	59.9	37.8	41.4	37.8	26.7	19.2
買い物・飲食	54.1	81.0	62.8	47.6	50.5	50.0	47.5	38.5
差分	9.0	9.6	2.9	9.8	9.1	12.2	20.8	19.3

注：網掛け部は最も差分が小さい年齢

## (2) その他の目的

買い物・飲食以外のその他の目的のうち、回答が比較的に多かった観光地めぐり、イベント参加見物、芸術鑑賞、温泉等、スポーツについて、旅行者の属性をまとめると以下の通りである。ただし、複数の目的で来札している場合があるため、異なる目的間の属性の比較はあまり意味をなさない。

### 観光地めぐり

年齢は60才以上が最も多く、家族や友人と来札するが多い。また、札幌市内で宿泊をする場合が7割以上である。

### イベント参加見物

30～39才が最も多く、家族か1人で来札するケースが多い。また、札幌市内で宿泊するケースが5割以上だが、その日数は1日が大半である。

### 芸術鑑賞

女性が多く、年齢は50～59才が最も多い。また、札幌市内で宿泊をしないケースが7割以上である。

### 温泉等

女性が多く、60才以上が最も多い。家族か友人と来札するケースがほとんどで、札幌市内で宿泊をするケースが8割以上である。

### スポーツ

男性が多く、50～59才が最も多い。家族か1人で来札するケースが多く、札幌市内で宿泊をするケースが半数程度であり、その日数も1日が多い。

図表83 来札目的別旅行者の属性

(単位：人、%)

	全体	観光地めぐり	イベント参加見物	芸術鑑賞	温泉等	スポーツ
回答件数	577	132	64	51	38	33
男性	41.6	46.2	48.4	29.4	39.5	81.8
女性	54.6	49.2	45.3	64.7	60.5	15.2
無回答	3.8	4.5	6.3	5.9	0.0	3.0
20才未満	7.3	2.3	9.4	3.9	0.0	3.0
20～29才	23.7	20.5	17.2	11.8	7.9	21.2
30～39才	14.2	13.6	28.1	15.7	7.9	12.1
40～49才	17.2	18.2	15.6	17.6	15.8	18.2
50～59才	15.6	17.4	6.3	27.5	28.9	24.2
60才以上	17.5	23.5	17.2	15.7	39.5	18.2
無回答	4.5	4.5	6.3	7.8	0.0	3.0
家族	34.3	34.1	45.3	25.5	36.8	36.4
いない	30.3	18.2	31.3	33.3	10.5	30.3
友人	27.4	34.8	17.2	29.4	36.8	12.1
その他	5.5	11.4	0.0	5.9	13.2	15.2
無回答	2.4	1.5	6.3	5.9	2.6	6.1
宿泊無し	59.8	28.8	45.3	72.5	18.4	48.5
1泊	27.4	43.9	45.3	15.7	44.7	36.4
2泊以上	11.1	27.3	9.4	9.8	36.8	15.2
無回答	1.7	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0

#### 4.まとめ

来札道内観光客として多数を占めたのは、圏域では道央であり、年齢では20～29才であり、来札目的では買い物・飲食であった。しかしながら、年齢別や圏域別の来札目的では、買い物・飲食が多数でありながらも、それぞれの特徴があることが判明した。買い物・飲食が来札目的の多数を占めるという前提ではあるが、本調査の結果として、その特徴は以下のようにまとめることができる。

##### 全体

- ・来札目的は買い物・飲食が5割以上、居住地は道央が6割、約1/4が20～29才の年齢層、同行者は、家族、同行者なし、友人の順に多い。
- ・札幌市内で宿泊する割合は4割程度。

##### 属性別

- ・買い物・飲食は、居住地では道央・十勝、年齢では30才未満、性別では女性の来札目的として高い割合。
- ・来札目的は、年齢が上がるにしたがい買い物・飲食の割合が減少する傾向にある。
- ・買い物・飲食は、居住地では道南や根釧、年齢では50才以上で単独で目的とする場合が少なくなる。
- ・年齢が30才以上では、家族あるいは1人で来札するケースが多く、来札目的は同行者によって異なる。家族で来札する場合は目的が分散する傾向にある。
- ・観光地めぐりは、居住地では道南・根釧、年齢では60才以上の目的として高い割合。
- ・イベント参加見物、温泉等は家族連れが多く、札幌市内での宿泊が比較的が多いが、芸術鑑賞は女性、1人での来札が多く宿泊は少ない。

図表84 調査結果に見る来札道内観光客の特徴

区分	特徴							
	目的	居住地	性別年齢	同行者	宿泊	消費額		
全体	買い物・飲食が5割以上を占める	道央が6割	約1/4が20才代	家族、1人、友人	4割程度	-		
年齢	30才未満	買い物・飲食が主目的	道央が7割程度	女性が多数	友人、1人で8割以上	2割程度	低い	
	30～39才	観光地めぐり イベント参加見物	道央以外が半数	-	最も多いのは家族	5割程度	高い	
	40～49才	年齢の上昇とともに買い物・飲食の割合は減少	観光地めぐり イベント参加見物	道央以外が半数	-	家族、1人で8割以上	4割程度	高い
	50～59才	同行者によって目的が異なる	観光地めぐり 芸術鑑賞	道央が6割	-	家族、友人	4割以上	買い物は低い
	60才以上		観光地めぐり 温泉等	道央が6割以上	-	家族、1人で8割弱	4割程度	低い
目的	観光地めぐり	-	道南・根釧で高い割合	高齢になるほど高くなる傾向	家族、友人	7割以上	-	
	イベント参加見物	-	道央を除き全体以上	30才代が多い	家族、1人	5割強	-	
	芸術鑑賞	-	道央・根釧を除き全体以上	女性が多数	1人、友人	3割以下	-	
	温泉等	-	-	60才以上で高い	家族、友人	8割以上	-	
	スポーツ	-	道央・道南を除き全体以上	男性が多数	-	5割程度	-	
居住地	道央	買い物・飲食が半数以上を占める	-	-	-	2割強	-	
	道南	観光地めぐりが半数以上を占める	-	-	-	8割程度	-	
	道北	目的が分散している 計5項目で全体を上回る	-	-	-	5割程度		
	林-ツ	目的が分散している	-	-	-	8割程度		
	十勝	買い物・飲食が半数以上を占める	-	-	-	5割強	-	
	根釧	観光地めぐりが半数以上を占める	-	-	-	8割程度	-	